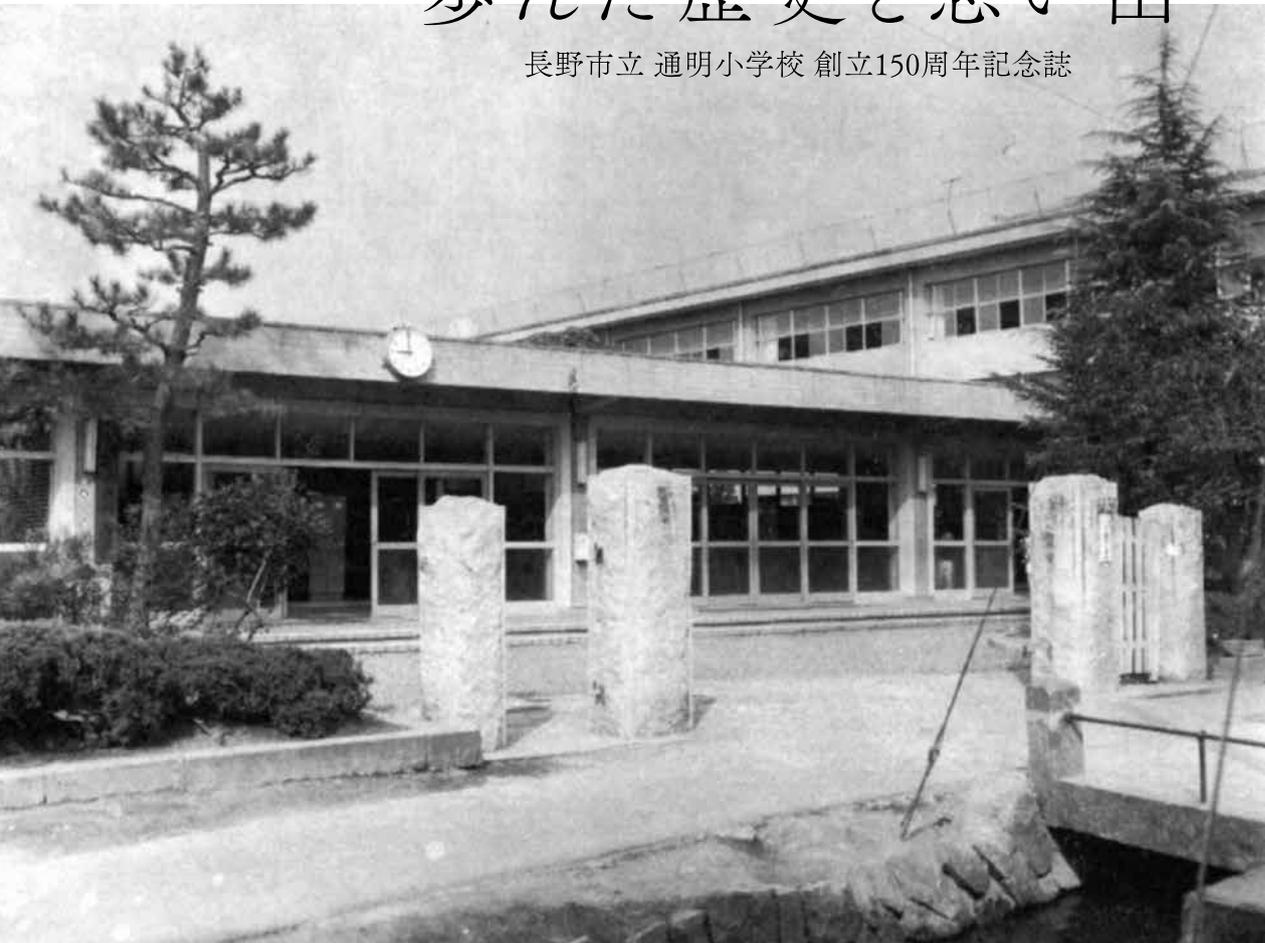




歩んだ歴史と思い出

長野市立 通明小学校 創立150周年記念誌



通明小学校百五十年史



長野市立長瀬小学校

誠道神明

150から200周年へ
時をさきがけ

未来をつかもう

通明小は地域の活力と誇り

この記念すべき節目を迎えるにあたり、「雨に嵐にたじろがず」という校歌の一節が、今私たちの胸に響いています。

令和元年台風19号や新型コロナウイルス感染症の流行に直面し、平穏な日常が奪われました。しかし、「子どもたちの笑顔のために」と、学校と地域が心を一つにしてこの危機を乗り越えようとしています。困難な状況に直面しながらも、記念事業のために、多くの方からご支援と温かいお気持ちが寄せられました。通明小学校が皆さんにとって「地域の活力」であることを改めて実感しています。

この記念誌は、子どもたちが「読みやすく・楽しく学べる」ように、マンガで150年の歴史を振り返りました。「子どもたちが何を見て、何を感じたか」懐かしさと思いが詰まっています。また、地元の皆さんの通明小に対する想いや先生方の深い愛情をストーリーに織り込みました。子どもたちと先生、地域との絆を伝える大切な一冊となるでしょう。私達の「誇り」がここにあります。

150周年記念プロジェクトを通じて、たくさんの笑顔に出会い、多くの想いが集まりました。このプロジェクトは、通明小の過去と現在をつなぎ、未来への礎となるでしょう。

これからも、雨や嵐はやって来るかもしれませんが、しかし、200周年300周年の未来も、桐の花が「地域の活力と誇り」として咲き続けることを願ってやみません。

最後に、多くの方のご支援とご協力、そして関わってくださったすべての皆さんに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

通明小学校
150周年記念事業実行委員会
実行委員長
昭和58年卒 久保田盛雄



150周年記念事業一覧

【2022（令和4）年】

- 1月1日 通明小学校同窓会ホームページ 公開
- 4月30日 第1回思い出を語る会 開催
- 7月1日 マンガ記念誌キャラクター発表
- 7月9日 第2回思い出を語る会 開催
- 8月27日 第3回思い出を語る会 開催

【2023（令和5）年】

- 5月1日 クラウドファンディング開始
- 5月10日 150周年記念航空写真撮影・ジャングルジム贈呈式
- 5月11日 ともどち劇場「通明かずちゃん人形劇」
- 6月3日 150周年記念 大運動会・篠ノ井大獅子競演・バルーンリリース
- 6月17日 150周年の庭 花と緑の植栽イベント
- 7月29日 篠ノ井合戦祭り「通明緑日」開催
- 8月19日 150周年記念演奏会「荒井雅至ヴァイオリンコンサート」
- 8月31日 通明150版 ようこそ！先輩（トランペット奏者・若林万里子さん、プロバスケットボール選手・三ツ井利也さん）
- 9月30日 150周年の庭「通明テラス」オープニングセレモニー
- 10月12日 マンガ記念誌 贈呈式（漫画制作者・宮尾佳和さん出席）
- 11月3日 130周年タイムカプセル開封式
- 11月10日 150周年記念音楽会・式典・祝賀会 開催
150周年の歌「行こう」お披露目



桐の木



大運動会



通明テラス



150周年の庭 花と緑の植栽イベント



ともどち劇場「通明かずちゃん人形劇」



ジャングルジム贈呈式



バルーンリリース



篠ノ井大獅子競演



荒井雅至ヴァイオリンコンサート





150周年記念誌祝辞

この度、長野市立通明小学校が、開校150周年という大きな節目を迎えることができましたことに心からお祝い申し上げます。

明治5年に、すべての人々が基本的な学校教育を受けられることを目指し、近代教育法令である「学制」が公布され、翌年の明治6年に「通明学校」が設立されました。

「通明」という学校名の由来は、中国の四書「中庸」の「至誠通神明」であるとお聞きしました。この言葉は、「まごころは神様に届く」や「まごころは人の心に届く」と解釈でき、多くの皆様方の「まごころ」に支えられ、伝統が脈々と受け継がれていることに深く感謝いたします。

現在、通明小学校では、「自ら考え 自ら行おうかがやく子ども」を学校教育目標とし、地域・家庭とともに子どもを育むことを通明教育の基盤に据え、子どもたちの教育活動の充実に向け、取り組んでいただいているところでございます。今後も、学校・家庭・地域の協働による学校づくりが充実していけることを大いに期待しております。

結びに、150周年記念事業に携わられた実行委員の皆様をはじめ諸先生方、子どもたちや保護者などの関係者の皆様の御尽力に深く敬意と感謝を申し上げますとともに、長野市立通明小学校のますますの御発展を祈念申し上げ、お祝いのことばいたします。



長野市長
萩原健司

ご挨拶

明治6年11月30日、地域の熱意によって開校した本校は、本年、創立150周年の節目を迎えました。本校発展のために賜りました多くの皆様方からのお力添えに、心より感謝申し上げます。この間、特に140周年以降の10年間、様々なことがありましたが、最大の出来事として、新型コロナウイルス感染症との闘いが刻まれることと思います。令和2年2月28日、国から全国のすべての学校に対して一斉臨時休業という未曾有の方針が出されました。未知のウイルスに対する不安から、本校を含め県内のすべての学校が方針に従い、臨時休業の措置をとりました。その後、「子どもたちの学びを止めない」ために、順次分散登校、オンライン授業等が行われましたが、長きにわたるマスク生活や、集団活動の制限は、子どもたちの成長に大きな影響を与えることになりました。本年5月、新型コロナウイルスは5類に移行し、150周年と関連させた様々な行事を、全校の児童、教職員、保護者の皆様、地域の皆様と共に行うことができ、ほっとすると同時に、151年目に向けた大事な150年目なのだということを改めて実感しています。ますます予測困難となる社会を、他者と協働しながら逞しく生き抜く子どもたちの育成に向け、皆様の負託にこたえられる学校づくりを進めてまいります。今後とも一層の支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶いたします。



通明小学校
第42代校長
早川孝一

「至誠通神明」永遠なれ! ~お祝いの言葉に代えて

篠ノ井通明小学校が、本年創立150周年の輝かしい年を迎えましたことは同窓生の一人として誠に慶賀に堪えません。

明治6年11月30日、篠ノ井の地に開校いたしました我が校は、初代小林全苗校長先生により、中国の故事「至誠通神明」から「通明」と名付けられ更級郡、そして長野市を代表する小学校として県内にその名をとどろかせてまいりました。

その教育方針はまさに「至誠」にあり、輝かしい伝統となって子どもたちの発育に大きな影響をもたらしてまいりました。150年間におよぶ歴史は学区制の改革・幾度にもわたる校舎の移転・改築・戦時下の苦難の教育、松代地震への対応など波乱万丈に満ちたと言っても過言ではありません。しかし、どんな時代にあっても「至誠通神明」の精神は崩れることなく、今日まで営々として脈打っております。

その証しに、これまで輩出してきた多くの卒業生が、世界中至る所で活躍をし、世のため人のために活動し、社会に貢献してきております。

近年は、世界的な流行をみせた新型コロナ禍のために、教育現場もこれまで経験したことのない対応を迫られました。全校生徒が一堂に会することもできず、地域との交流も閉ざされ、一部対面教育もままならない事態が惹起されましたが、この苦難の時期を教職員はもとより地域住民が英知を結集して、我が校の伝統を守り抜き、通明精神の涵養に努めてまいりました。そしていささかも揺るぎない教育の現場確保に努められたのであります。通明小学校150年の歴史は単なる学校だけの発展ではありません。篠ノ井地区の発展をも促し、有為な人材の育成に多大な貢献をしてきた歴史でもあります。

150周年の素晴らしい記念日にこうして無事に祝うことができますことは、この上ない喜びであります。計画いたしました多くの記念行事もつつがなく進行いたしております。

今後創立200年に向けて、地域全体で通明小学校のさらなる発展を情熱溢れる発想と行動力で逞しく切り開いて行くことを切に祈念いたしまして、お祝いの言葉いたします。

最後に創立150周年記念行事に携わられた全ての皆様のご苦勞に、心より厚く感謝と御礼申し上げます。「至誠通神明」 永遠なれ!



通明小学校
同窓会長
昭和24年卒
渡邊一正



発刊を祝して

通明小学校が創立されて150周年を迎え、此の度記念誌の発刊が計画され実現されましたことを喜びお祝い申し上げます。

本校は明治6年に地域の強い要望によって開校されて以来150年間、初代校長小林全苗先生の「至誠通神明」を通明小学校教育のモットーとして掲げ、今日に至っております。

本校PTAも誕生して76年間、近年では令和元年の台風19号による甚大な被害、翌年から発生したコロナウイルスによる世界的なパンデミックにおける緊急事態宣言下での数か月間にわたる休校など、激動する複雑な社会情勢の中においても、教育に深いご理解をお寄せ下さった諸先輩並びに会員各位のたゆまぬ努力と叡智と情熱により、教育の発展向上の一翼を担ってまいりました。

通明小学校の151年からの更なる発展を願い、学校と家庭と地域が一体となって、連綿と続く共にかがやく未来を築けるよう祈念いたします。

最後になりますが、記念誌発刊にご尽力いただきました各位に対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。



第76代PTA会長
平成3年卒
山岸陸弘



ご挨拶

この度、長野県立通明小学校が開校150周年を迎えられますことを、心からお喜び申し上げます。

貴校は学制が発布された明治5年の翌年にあたる明治6年11月30日、「通明学校」として設立されたのが始まりと伺っております。初代小林全苗校長が、中国の四書のひとつである「中庸」から「至誠通神明」の言葉を挙げ、その二字をとって「通明」と命名したことも知りました。長野県から遠く離れた北海道にある本校にも、その開学の精神は脈々と受け継がれています。

本校は、大正9(1920)年、音更村鹿追尋常小学校所属東瓜幕特別教授場として創立し、昭和2年、現在の校名へと改称されました。この地域に開拓者として入植した方々の郷里にある貴校から名称をあやかったとのことでした。

令和3年度、本校は開校100周年記念という節目の年を迎えましたが、貴校の皆様方の物心両面にわたる特段のご協力により、盛大に記念式典を開催することができました。

結びに、開校当時から、本校と同じ精神で教育の歴史を紡いできた貴校に対し、改めて心からの敬意を表するとともに、貴校並びに地域の一層のご発展をご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



鹿追町立通明小学校
第28代校長
小林 亮

目次 CONTENTS

2	校舎の風景	
4	発刊に寄せて	150周年記念事業実行委員長 久保田盛雄
5	150周年記念事業一覧	
6	航空写真	
8	ごあいさつ	
	長野市長	荻原 健司
	学校長	早川 孝一
	同窓会長	渡邊 一正
	PTA会長	山岸 陸弘
	鹿追町立通明小学校校長	小林 亮
12	通明小学校の沿革史(1872年～2014年)	
21	130周年から150周年の主な出来事	
	仮説校舎 / 建設中の新校舎 / 竣工記念式典	
	新校舎に引っ越し	
	通明大運動会 in ホワイリング	
	篠ノ井地区の水害	
	コロナ禍の通明小学校	
	創立130周年記念タイムカプセル『夢』開封	
	通明小学校の児童数の推移	
30	特別寄稿	
	歴代学校長	
	卒業生	
	歴代児童会長	
39	思い出を語る会	
	第1回 2022年4月30日 ～昭和10～30年代前半の通明小～	
	第2回 2022年7月9日 ～昭和30年代後半～50年代の通明小～	
	第3回 2022年8月27日 ～平成の通明小～	
46	組織図	
47	あとがき	

通明小学校の沿革史(1872年～2014年)

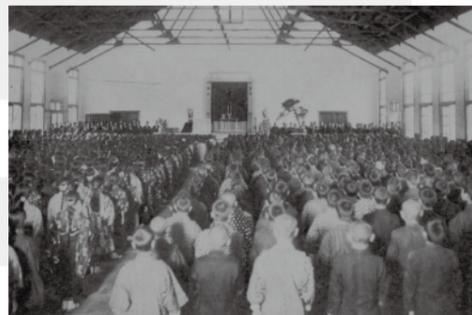
西暦	通明小学校の沿革	社会情勢
1872 (明治5)	学制(日本最初の近代的学校制度を定めた教育法令)が頒布された。	
1873 (明治6)	11月30日、御幣川村(現長野市篠ノ井御幣川)にあった寺子屋「宝昌寺」を母体に近隣の7村が連合して「通明学校」を設立。校名は初代校長で漢学者でもあった小林全苗が、中国の四書の一つ「中庸」の「至誠神明に通ず」の語句から二字を選んで命名。	明治六年政変。朝鮮使節派遣の中止が決定し、征韓論派が敗れる。西郷隆盛が当日、板垣退助らが翌日に参議の辞表を提出。
1877 (明治10)		鹿児島で西郷隆盛挙兵、西南戦争始まる。
1878 (明治11)		太政官制が廃止され、内閣制度が定められる(初代首相は伊藤博文)。
1881 (明治14)	児童数増加に伴い、御幣川西浦地区に本校舎を新築。	日本で1890年に国会を開設する旨の「国会開設の詔」を發布。
1883 (明治16)	不況の時代だったが、明治16～18年まで授業料の徴収を廃止したことで、就学率が低かった女子の児童数が急増。裁縫専修科を設置し、学齢期以外の女子も入学を許可して女子の就学を奨励した。	政府のデフレ政策により全国的な大不況が招来。各地に教育費の負担に耐えかねた騒動をはじめ、就学率の急激な低下などの問題が発生した。
1884 (明治17)	4月、児童数の増加により校舎を増築。	
1886 (明治19)	学区改正により岡田村が連合し、「通明学校」から「御幣川学校」に校名が変更。 小学校令の公布により、小学校が尋常小学校・高等小学校の2段階になり、尋常小学校(3～4年)が義務教育に。経済事情などで通学できない児童のために簡易な初等教育を行う小学簡易科の設置も許可され、尋常小学校に代用可能になった。一方、授業料の徴収を再開し、再び女子児童数が急減。	ニューヨークの自由の女神像の除幕式が行われる。
1889 (明治22)	市町村制の施行により、再び学区が変更。岡田村が小松原村と合併し「共和学校」が新設されたことで、再び「通明」の校名になり、「通明尋常小学校」となった。学区内の布施高田・布施五明は布施村、会・横田・御幣川は御幣川村(翌23年、栄村に改称)になった。	大日本帝国憲法、皇室典範などが公布。エッフェル塔が完成。
1892 (明治25)	女子児童数の増加に伴って校舎を増築。女子児童を中心に特別授業を行う分教室を会・横田・御幣川・瀬原田・五明・高田地区に設置。経済事情などにより就学が難しい児童のために「子守教育所(子守学校)」が設置された。 ※県では明治32年「尋常小学校特別学級規程」を作成し、経済事情などで通学できない児童の就学のために各町村に特別学級が開設されたが、通明尋常小学校では明治25年にすでに「子守学校」が設置されていた。	福澤諭吉の後援で北里柴三郎が大日本私立衛生会伝染病研究所(現東京大学医科学研究所)を設立。
1893 (明治26)		4月、信越線開通。
1894 (明治27)		7月、日清戦争勃発。
1895 (明治28)		4月、日清戦争終戦。
1898 (明治31)	3月、通明尋常小学校に高等科を併置。通明尋常高等小学校となった。校舎が狭くなったことで、裁縫専修科を宝昌寺に移転(～明治32年3月31日まで)。	
1899 (明治32)	12月、義務教育修了者を対象とした「栄布夜学会」を開設。	



西暦	通明小学校の沿革	社会情勢
1900 (明治33)	布施村・栄村による高等科組合ができ「篠ノ井高等小学校」「通明尋常小学校」と校名を改称。 8月、小学校令が改定公布され、義務教育の尋常小学校が4年に統一され、授業料が無償に。	パリ万国博覧会開催。
1901 (明治34)	裁縫専修科を「女子実業補習学校」と改名。翌35年、実業補習学校改正規程により、主に農業と裁縫を学ぶ実業学校に。	
1902 (明治35)		12月、篠ノ井線全線開通。
1903 (明治36)	経済恐慌や凶作の波を受けた結果、就学率が下がり、「通明男子補習学校(夜学)」設置。	ライト兄弟が人類初の動力飛行に成功。
1904 (明治37)	1月、「女子実業補習学校」に男子部も加え、「農工補習学校」を附設。 2月、栄村・布施村の青年会を統一し「栄布連合青年会」を結成。会長には通明学校長が就任し、役員は「農工補習学校」の監督員に。	2月、ロシアとの国交が断絶して日露戦争開始(～1905年)。軍事費のために地方費削減もより、学校の資金作りは困難を極めた。
1907 (明治40)	3月、小学校令中改正によって義務教育が6年に延長し、児童数も増加。 小学校内に4村の組合による「篠ノ井通明図書館」が開館。館長は通明尋常小学校校長が務めた。	
1910 (明治43)	5月、現在地に校舎を新築。5月8日、「栄・布施両村組合立通明尋常高等小学校」開校式を開催。来賓7000余名を招待し、翌日には第一回記念運動会開催。以来、毎年5月8日に記念運動会を実施。 開校を記念し、地域の古社・布制神社の社紋にちなんで多くの桐の木が植樹された。	日韓併合条約調印(韓国併合)。
1914 (大正3)	4月、町制施行により、布施村が篠ノ井町に改称。	
1917 (大正6)	5月、天皇・皇后の御真影(写真)や教育勅語謄本を納める「奉安殿」落成。	ロシア革命勃発。
1919 (大正8)	明治43年と大正3年の千曲川の大洪水の被害により、栄村の堤防の改修計画が決定し、移転が必要になった横田地区の住民と篠ノ井町の希望者をあわせた30世帯が北海道・十勝地方音更村(現・鹿追町)に開拓団として集団移住。	
1920 (大正9)	北海道開拓団が苦勞の末、開拓地に小学校を開校。児童数25名。	日本で初めてのメーデー。第一回国勢調査。
1922 (大正11)		ソビエト連邦成立。
1923 (大正12)	4月、篠ノ井、栄、信里、共和、中津、御厨、東福寺の一町六カ村は学校組合を設立し、「長野県更科実科高等女学校」開校。当初は通明小学校北校舎の3教室を使用していたが、12月、北校舎を二階建に改築し、階上の新教室を使用。 桐の木をモチーフにした通明小学校の現在の校章が誕生。 9月1日、関東大震災の発生により、13日に被災児童に贈る教科書や学用品の募集を実施。6年生の諏訪旅行は中止。	9月1日、関東大震災が発生。
1924 (大正13)	図書館が、篠ノ井町・栄村組合立通明図書館に。	阪神甲子園球場完成。
1927 (昭和2)	北海道開拓団が開校した小学校が現在地に移転し、故郷の学校にちなんで「鹿追町通明尋常小学校」に改称。	昭和金融恐慌。日本初の地下鉄が上野～浅草間で営業開始。
1928 (昭和3)	4月、栄村が篠ノ井町と合併し、改めて篠ノ井町が発足。	



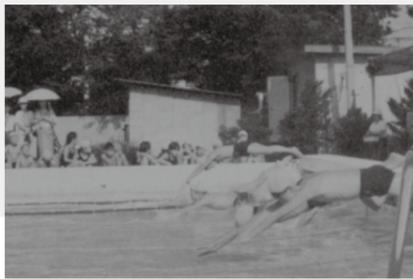
西暦	通明小学校の沿革	社会情勢
1929 (昭和4)	6月、「長野県更科実科高等女学校」の北校舎を増築し、小学校と共用。鉄筋製の雨天体操場(第一体育館)も新築した。 10月、通明図書館を新築。	ニューヨーク株式市場が大暴落し、世界恐慌が始まる。
1930 (昭和5)	世界恐慌によって繭価が暴落し、長野県は不況のどん底に。昼食弁当が持参できない欠食児童や、寒中に足袋も履けないほど困窮する児童が増加。	第一回FIFAワールドカップ開催。
1931 (昭和6)		満州事変勃発。
1932 (昭和7)	鶏舎を竣工し、「長野県更科実科高等女学校」で養鶏を開始。	
1934 (昭和9)	創立60周年記念事業で、現在の校門が建設される。	日本初のプロ野球球団「大日本東京野球倶楽部(読売ジャイアンツの前身)」設立。
1936 (昭和11)		二・二六事件。
1937 (昭和12)		7月、日華事変。
1941 (昭和16)	4月、小学校令の改正(国民学校令)により「通明国民学校」となり、義務教育が8年に延長。授業に相撲、薙刀、県道、柔道などが取り入れられ、戦時下の教育内容に。郡下最大規模の相撲道場が竣工された。	真珠湾攻撃で太平洋戦争(大東亜戦争)が開戦。
1943 (昭和18)		明治神宮外苑競技場にて第1回学徒出陣壮行会。
1944 (昭和19)	東京・大阪・名古屋などの大都市の空爆により、学童疎開が急増。	東京・大阪・名古屋などの大都市の空爆により、学童疎開が急増。
1945 (昭和20)		8月15日、終戦の玉音放送。
1946 (昭和21)	冬季のみそ汁給与(みそ汁給食)は戦前から行っていたが、12月、全児童を前班・後班に分け、1日おきのみそ汁を給与。(みそ汁給食は補食給食が実施される昭和26年まで続いた。)	日本国憲法公布。
1947 (昭和22)	新憲法が公布され、教育基本法・学校教育法(6・3制の新学制)が施行。義務教育が9年になった。 4月に「篠ノ井町立通明小学校」として開校し、7月に「通明中学校」が開校。校庭や体育館は共同使用した。 2学期から学校自治会(現・児童会)が組織され、12月には「父母と先生の会」(現PTA)が発足。	日本国憲法施行。GHQが学校給食用に脱脂粉乳の放出を指令。
1949 (昭和24)	現在の校歌が制定される。 小学校・中学校とPTA合同の主催で学校祭を開催し、映画上映や各種の展覧会、飲食物の販売、物品販売などを行った(～昭和28年まで)。	1ドル360円の単一レートが決定。
1950 (昭和25)	6月、学校給食指定校になり、脱脂粉乳の配給が受けられるように。	朝鮮戦争(～1953年)
1951 (昭和26)	小学校の通学区変更に伴い、柳沢地区の児童が川柳小学校に通学することになり、昭和地区の児童が通明小学校へ通学することになった。 現在の給食コンテナ一室のある場所に、約2000人の調理能力がある給食室が新築され、冬季のみそ汁給食は、汁・おかずの補食給食になった。	サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約調印
1952 (昭和27)	通明中学校の体育館を新築(体育館現在の通明小学校の第二体育館)。	
1953 (昭和28)	創立80周年記念式典を行う。 12月から給食がパン・ミルク・おかずの完全給食になった。	



西暦	通明小学校の沿革	社会情勢
1955 (昭和30)	明治41年築の中校舎が2階建に増改築され、耐火建築になった。第二体育館が完成。 教科指導は通明小学校独自のカリキュラムによって行い、クラブ活動は年間通して週2時間実施。児童会は週1時間ずつ実施。 7月、特殊学級「桐組」(昭和36年度より「仲よし組」)を開設。県内で4学級が開設されたうちのひとつで、全職員が教育・研究に力を注いだ。	現行の1円硬貨発行(日本初のアルミ硬貨) アメリカのカリフォルニア州にディズニーランドがオープン。
1957 (昭和32)	プール(兼防火用水)が建設され、第一回水泳大会が開催された。	NHK超短波FM放送東京実験局が開局し、日本初のFM放送を開始。
1958 (昭和33)		東京タワー完成、一万円札発行。
1959 (昭和34)	市制施行に伴い、篠ノ井町と塩崎村が合併して篠ノ井市が誕生。	皇太子(現上皇)ご成婚。
1961 (昭和36)	中庭に池や小鳥小屋が完成。中校舎の図書館の横にプラネタリウムを設置。	ソ連が人類初の有人宇宙飛行に成功。
1963 (昭和38)	創立90周年記念式典を行う。築山、観察池、校内放送設備等が整備された。	アメリカ合衆国第35代大統領ジョン・F・ケネディが、テキサス州ダラスで暗殺される。
1964 (昭和39)		東京五輪開催。
1965 (昭和40)	松代群発地震により北校舎が使用不能になり、取壊しに。プレハブ校舎に移転し、二部授業制を実施。火事を防ぐために冬もストーブなど火気厳禁で、毎週のように地震火災のための避難訓練を行った。 篠ノ井市役所の老朽化に伴い、市役所機能を第二体育館に移転し、内装を改造(～昭和44年まで)。	8月3日松代群発地震が始まる。 日本サッカーリーグ(日本アマチュアスポーツ初の全国リーグ)が発足する。
1966 (昭和41)	松代群発地震によって南校舎も使用禁止となり、プレハブ校舎(22教室分)に移る。運動場の使用不能。 10月、篠ノ井市と長野市・埴科郡松代町・更級郡川中島町・信更村・更北村・上水内郡七会村・上高井郡若穂町と合併して篠ノ井市が廃止となり、改めて長野市が発足。	ビートルズ来日。
1967 (昭和42)	新校舎の北校舎(鉄筋コンクリート3階建、総工費1億6百万円余)が竣工。	ニッポン放送系の深夜ラジオ「オールナイトニッポン」が放送開始。 佐藤栄作首相が非核三原則を表明。
1969 (昭和44)	児童の跳躍力や瞬発力を鍛える遊具として、校庭に古タイヤを埋める 市役所の移転により損傷が激しかった第二体育館の内装を一新。	世界初の有人宇宙船「アポロ11号」が、人類史上初めて月に到達。 東大安田講堂攻防戦。 テレビアニメ「サザエさん」(フジテレビ系)放送開始。
1970 (昭和45)	現在の中庭(新校舎南側)の観察池と鑑賞池を整備。	初の国産人工衛星打ち上げ成功。 よど号ハイジャック事件発生。
1971 (昭和46)	7月、横13mの大プール(25mプール)が完成。 市立通明図書館が唐臼に移転され、11月、学童クラブとして開設。	日清食品が世界初のカップ麺「カップヌードル」を発売。
1972 (昭和47)		札幌冬季オリンピック開催。 あさま山荘事件発生。 沖縄が日本に復帰。
1973 (昭和48)	8月、創立100周年記念として、校庭に「百年」「通明」の文字を描いて航空写真撮影。 10月、100周年記念大運動会開催。 11月、百周年記念音楽会および祝典が盛大に挙行される。	変動相場制スタート。 第一次オイルショック。

西暦	通明小学校の沿革	社会情勢
1974 (昭和49)	五明・瀬原田・ニツ柳・昭和の一部の通学区が変更になり、児童1400名余のうち455名が篠ノ井西小学校の児童に。通明小の児童数は960名になり、学級数は35から26学級に編成。校内テレビ開局、放映が始まる。北海道通明小学校よりヤマザクラ等をいただく。合唱クラブがSBC合唱コンクールで長野県代表になる。篠ノ井市民会館前に児童館が完成。	小野田寛郎元陸軍少尉がルバング島から30年ぶりに救出。セブン-イレブンの日本1号店が東京都江東区で開店。巨人の長嶋茂雄選手引退。
1976 (昭和51)	プレハブ校舎跡地に「流水実験場」建設	ロッキード事件で田中角栄前首相を逮捕。
1977 (昭和52)	1月、北校舎北側にスケートリンク完成。児童会主催のマラソン大会開催。児童会の歌が完成し、発表会を実施。新校舎と旧校舎間の渡り廊下改修完了。	王貞治、756号本塁打世界記録達成（昭和55年引退）。
1978 (昭和53)	北校舎北に焼却炉を新設。旧通明図書館（前児童館）の取り壊し。通明小学校PTA30周年記念の式典挙行。記念事業で吹奏班を結成、温室完成。学校をあげて「歯の保健指導」の取り組みを開始。	成田空港開港。松本市を主会場に長野県で「第33回国民体育大会（やまびこ国体）」開催。篠ノ井駅に特急が停車するように。
1979 (昭和54)	市立通明図書館が現在地に新築・移転し「長野市立南部図書館」と改称して開館。	初の大学共通一次試験実施。第二次オイルショック。
1981 (昭和56)		国道篠ノ井バイパス（篠ノ井橋～長野大橋）全線開通。篠ノ井公民館完成。
1982 (昭和57)	南校舎改築に伴い、校庭北隅にプレハブ校舎設置。児童会主催の南校舎お別れ式開催。校舎改築のため、例年、9月に行われる運動会を5月に実施。特別支援学級「明るい教室」開級。給食コンテナ室落成。北校舎東コンクリート塗装が職員により完了。	
1983 (昭和58)	3月、南校舎落成。引っ越し完了により、学校環境が総合的に整備された。11月、創立110周年記念式典、南校舎竣工祝賀会開催。記念事業として中庭環境整備を実施し、「大望」ブロンズ像建立。動物飼育小屋完成。	任天堂が家庭用ゲーム機・ファミリーコンピュータ（ファミコン）を発売。
1984 (昭和59)	第18回長野県「よい歯の学校」大規模小学校の部で優秀校として表彰。以降、連続して毎年「優秀賞」「特別優秀賞」等を受賞。	長野県西部地震発生。
1985 (昭和60)	第一体育館改築工事開始。	群馬県「御巢鷹の尾根」に日本航空123便ボーイング747ジャンボ機墜落事故。
1986 (昭和61)	2月、第一体育館竣工記念式典、祝賀会開催。4月、合戦場が通明小の学区となり、12名が入学。	ハレー彗星が地球に接近。伊豆大島三原山噴火。チェルノブイリ原発事故発生。
1987 (昭和62)	川村孝（号・龍洲）氏より「通明」の書一幅寄贈。	
1988 (昭和63)	文部大臣賞表彰3賞受賞（全日本よい歯の学校、学校保健功労、優良PTA）。	リクルート事件発覚。青函トンネル開業。瀬戸大橋開通。韓国・ソウルオリンピック開催。篠ノ井駅前にロータリー完成。

西暦	通明小学校の沿革	社会情勢
1989 (昭和64) (平成元年)	校長住宅落成。掲額式「桐水庵」開催。PTA 40周年記念が行われる。長野県健康優良学校（大規模校）県代表として表彰を受ける。長野県「よい歯の学校」表彰では特別指定校に。	昭和64年1月7日午前6時33分、昭和天皇が崩御（87歳）。年号が「平成」になる。消費税（3%）導入。天安門事件発生。ベルリンの壁崩壊。マルタ会談、冷戦終結。横浜ベイブリッジ開通。漫画家・手塚治虫さん、歌手・美空ひばりさん死去。リクルート事件発生。任天堂「ゲームボーイ」発売。
1990 (平成2)	OBの青木拡憲氏より多くの楽器が寄贈される（オルガン18台、木琴・鉄琴各3台他）	東西ドイツ統一。礼宮文仁殿下・紀子さま結婚。第一回大学入試センター試験実施。セガ「ゲームギア」、任天堂「スーパーファミコン」発売。競馬ブームを巻き起こした「オグリキャップ」が有馬記念で優勝し、引退。
1991 (平成3)	長野冬季オリンピックに向け、南長野青年会議所が通明小学校第一体育館で「南長野子どもサミット」を開催。犀川南部地区19小学校の6年生250人が参加し、代表18名が意見を交換。	湾岸戦争勃発。前年のイラクによるクウェート侵攻をきっかけに、国際連合が多国籍軍を派遣。長崎県の雲仙普賢岳噴火、大火砕流発生。ソビエト連邦消滅。大相撲横綱・千代の富士現役引退。1998年の冬季オリンピック開催地が長野に決定。
1992 (平成4)	音楽指導来校15周年を記念し、伊藤温先生作詞作曲の「通明讃歌」贈呈式演奏。9月、毎月第2土曜日が休みになる学校週5日制開始。	フランス・アルペールビル冬季オリンピック開催。PKO協力法成立、自衛隊をカンボジアに派遣。スペイン・バルセロナオリンピック開催。宇宙飛行士・毛利衛さん、米スペースシャトルに搭乗。きんさん・ぎんさん満100歳。
1993 (平成5)	創立120周年記念式典が行われ、記念大運動会、記念演奏会開催。国旗掲揚等の設置。全日本健康推進学校長野県代表に選出。	3月、篠ノ井に高速自動車道開通。サッカーJリーグ発足。サッカー日本代表「ドーハの悲劇」。大相撲・曙が外国出身力士として初めて横綱に。「外国人技能実習制度」スタート。マイクロソフト「ウィンドウズ3.1」日本語版発売。皇太子さま（現天皇）と雅子さまご結婚。横浜レインボーブリッジ開通。EU発足。「屋久島」「白神山地」「法隆寺と周辺の建築物」「姫路城」が日本初の世界遺産登録。
1994 (平成6)	姉妹校・北海道鹿追町立通明小学校を職員と地域住民16名が訪問。	ノルウェー・リレハンメル冬季オリンピック開催。F1レーサー・アイルトン・セナ選手がレース中に事故死。松本サリン事件発生。北朝鮮・金日成主席死去。日本人初の女性宇宙飛行士・向井千秋さん宇宙へ。「ジュリアナ東京」閉店。関西国際空港が開港。オリックスのイチロー選手が通算安打の日本記録達成。セガ・エンタープライズ「セガサターン」、ソニー「プレイステーション」発売。木造平屋だった旧篠ノ井駅の建物が新幹線工事に伴って取り壊される。大相撲・貴乃花が横綱に昇進。
1995 (平成7)		阪神淡路大震災発生。地下鉄サリン事件。オウム真理教・麻原彰晃（本名・松本智津夫）元死刑囚逮捕。東京都知事に青島幸男氏、大阪府知事に横山ノック氏当選。野茂英雄がドジャース入団。ナショナルリーグ新人王に選出。マイクロソフト「ウィンドウズ95」日本語版発売。PHSサービス開始。「白川郷・五箇山の合掌造り集落」世界遺産登録。現在の新篠ノ井駅オープン。



西暦	通明小学校の沿革	社会情勢
1996 (平成8)	長野冬季オリンピックの校一国運動で、スイスと韓国と交流。2月、スイスオリンピック委員が来校。4月、韓国青年会議所代表団(21名)と交流。 長野県健康推進学校表彰を受賞(3年連続)。 全日本健康推進学校すこやか奨励賞を受賞。	ゲームボーイソフト「ポケモン」発売。ブームに。 検索サイト「Yahoo! JAPAN」サービス開始。 アメリカ合衆国・アトランタオリンピック開催。 「海の日」制定。 俳優・渥美清さん死去。 バンダイ「たまごっち」発売。 「原爆ドーム」と「厳島神社」世界遺産登録。
1997 (平成9)	5年生が韓国・清州大学と交流。 スイス選手団(18名)と交流会。スイスの中学生(6名)が訪問。韓国に千羽鶴とハローベアを送る。韓国オリンピック組織委員との交流。 長野冬季オリンピック開催に合わせ、長野新幹線が開通。6年生の東京社会見学でも新幹線を利用。 子どもが登下校の緊急時に駆け込める「安心の家」の依頼と設置。 合唱団NHK合唱コンクール長野県大会で金賞を受賞。	消費税5%に引き上げ。 「楽天市場」開設。 神戸連続児童殺傷事件発生。 香港、英植民地から中国に返還。 山一証券破綻。 長野新幹線「あさま」開業。 地球温暖化防止京都会議開催。 人気アニメ「ポケモン」画面の閃光で子どもが倒れる。
1998 (平成10)	2月、長野冬季オリンピック開催。韓国の大学生との交流。オリンピック村スイス村入村式に参加。 長野南運動公園のオリンピックスタジアムで行われた開会式には6年生代表が雪ん子とプラカード先導で参加。 韓国・西大邱(ソテグ)青年会議所代表団(10名)来校。 姉妹校・北海道鹿追町立通明小学校から2名の先生が来校(1月)。1名の先生が研修のため来校(2月)。 ゲートボールクラブ全国大会出場。合唱団NHK合唱コンクール長野県大会で銀賞を受賞。"	長野冬季オリンピックには、冬季五輪史上最大規模の72の国と地域から3500人の選手団が参加。 郵便番号が3桁から7桁に。 大相撲・若乃花が横綱昇進。史上初の兄弟横綱誕生。映画監督・黒澤明さん死去。元「X JAPAN」のhideさん急死。 サッカーW杯フランス大会開幕、日本が初出場。 サッカーくじ開始。 和歌山毒カレー事件発生。 マイクロソフト「ウインドウズ98」日本語版発売。アップル「iMac」日本発売。 高校野球で横浜高校・松坂大輔投手が決勝戦でノーヒットノーラン達成。春夏連覇。 北朝鮮、弾道ミサイル「テポドン」発射。 「古都奈良の文化財」世界遺産に決定。
1999 (平成11)	韓国大学生との交流会。韓国の青年会議所代表団(7名)来校。 ポンプ庫新築落成式。 プレハブ小屋を建設し、運動会大型用具等の収納や分別収集置き場として活用。 合唱団NHK合唱コンクール長野県大会で金賞を受賞。	プロレスラー・ジャイアント馬場さん死去。 日産とルノーが資本提携で合意。 都知事選、石原慎太郎氏当選。 ソニー・子犬型ロボット「AIBO」発売。 「男女共同参画社会基本法」成立。 「日光の寺社と寺」世界遺産に決定。
2000 (平成12)	新しいプールの竣工式、プール開き。 西トイレ改修工事が行われ、男女別と身障者用トイレを新設。 北海道鹿追町立通明小学校80周年式典に校長とPTA会長が参加。同校校歌の額(視聴覚室展示)と木彫りのフクロウ(児童昇降口展示)を寄贈される。	「ハッピーマンデー」スタート。 ソニー「プレイステーション2」発売。 ロシアの大統領にプーチン氏が就任。 皇太后さま逝去。 雪印牛乳の集団食中毒事件発生。ステーキ規制法施行。2000円札発行。 オーストラリア・シドニーオリンピック開催。 日本初のネット専用銀行「ジャパンネット銀行」営業開始。 長野県知事に作家・田中康夫氏当選。 「琉球王国のグスクと関連遺産群」世界遺産決定。 BSデジタル放送開始。
2001 (平成13)	北方領土在住のロシア人との交流会。 初めての地域開放参観日。	中央省庁再編。 長野県・田中康夫知事「脱ダム宣言」。 アメリカ同時多発テロ事件発生。 「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)」オープン。「東京ディズニーシー」オープン。 大阪・池田小学校事件発生。兵庫・明石花火大会歩道橋事故発生。 アップル「iPod」を日本で発表。 JR東日本「Suica」導入。 雅子さまがご出産。敬宮愛子さまと命名。



西暦	通明小学校の沿革	社会情勢
2002 (平成14)	韓国清州市私立大成(テイソン)初等学校との交流を開始。同校校長が来校し、「姉妹校交流議定書」を締結。	欧州12か国で単一通貨ユーロ流通開始。 アメリカ合衆国・ソルトレイクシティ冬季オリンピック開催。 サッカーW杯日韓大会開催。 拉致被害者のうち5人、24年ぶりに帰国。 カメラ付き携帯電話発売。
2003 (平成15)	学校週5日制完全実施。 創立130周年事業開始。全校児童からスローガンを募って全員投票で「伝統と文化が絶えることなく未来へ続く 通明小学校」と決定。うさぎ小屋を改築し、大賀ハスを篠ノ井東中学より移植。 10月、創立130周年記念式典・講演会・祝賀会開催。 パソコン室完成。40台のパソコンが入り、一人一台使用可能に。 自然委員会を中心に学校花壇を整備し、校章の桐をデザイン。FBC(フラワー・ブラボー・コンクール)春花壇で「優良賞」受賞。	「六本木ヒルズ」オープン。 小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ。 地上波デジタル放送開始。 SARS流行。
2004 (平成16)	放送室・相談室を全面改修工事する。	九州新幹線開業。 東京の営団地下鉄が民営化、東京メトロ誕生。 ギリシャ・アテネオリンピック開催。 新潟中越地震発生。 お札のデザインが20年ぶりに一新。 プロ野球パ・リーグに楽天が新規参入。オリックスと近鉄が合併した新球団「オリックス・バファローズ」が発足。 インドネシア・スマトラ沖地震発生。
2005 (平成17)	「桐の木の下で」を作曲家・富澤裕先生が作曲する。	中部国際空港(セントレア)開港。 「スペシャルオリンピックス冬季世界大会」長野で開催。 「愛・地球博」愛知県で開催。 日本プロ野球史上初のセ・パ交流戦開始。 北海道「知床」世界自然遺産登録。 宇宙飛行士・野口聡一さん宇宙へ。 日本初の男子プロバスケットボールリーグ・bjリーグ開始。 東京・秋葉原にAKB劇場オープン。
2006 (平成18)	人権啓発番組「通明小音楽物語」が県下に放映される	イタリア・トリノ冬季オリンピック開催。 野球の第1回WBCで日本優勝。 サッカーW杯ドイツ大会開催。 夏の甲子園決勝、再試合で早稲田実業が優勝。 秋篠宮妃紀子さま男児「悠仁(ひさひと)さま」ご出産。 ソニー「プレイステーション3」、任天堂「Wii」発売発売。
2007 (平成19)	教育課程研究協議会で社会科授業研究会が行われる	郵政民営化スタート。 第1回東京マラソン開催。 文部科学省の全国学力テスト、43年ぶりに実施。 熊本市の慈恵病院に「赤ちゃんポスト」。 ゴルフ石川遼、15歳で日本のツアー史上最年少優勝。 新潟県中越沖地震発生。緊急地震速報運用開始。 安倍晋三首相、辞任。
2008 (平成20)	通明小学校PTA60周年記念として本棚を設置する。	ゆとり教育転換へ。 「後期高齢者医療制度」スタート。 秋葉原通り魔事件発生。 リーマン・ブラザーズが破綻。 iPhone、日本で発売。 中国・北京オリンピック開催。
2009 (平成21)	長野市教育大綱指定研究公開研究会で「国語」の公開授業が行われる	米大統領にアメリカ史上初めて黒人の大統領・オバマ氏就任。 野球のWBCで日本が2連覇。 高速道路1000円。 裁判員制度スタート。 高齢ドライバーの免許更新で認知機能検査義務付け。 マイケル・ジャクソンさん死去。 消費者庁発足。

西暦	通明小学校の沿革	社会情勢
2010 (平成22)	教育課程研究協議会で体育科授業研究会が行われる	カナダ・バンクーバー冬季オリンピック開催。 アップルの多機能端末「iPad」発売。 サッカーW杯南アフリカ大会開催。 第22回参院選民主敗北により「ねじれ国会」に。 羽田空港新国際線ターミナルビルオープン。 東北新幹線が全線開通。
2011 (平成23)	全国学校体育研究大会長野大会会場校として体育の公開授業が行われる	小学校の英語必修化。 3月11日、東日本大震災発生。福島第一原発事故発生。 3月12日、長野県北部地震発生。 携帯ゲーム機「ニンテンドー 3DS」発売。 九州新幹線全線開通。 地上テレビのアナログ放送終了、地上デジタル放送に移行。 サッカー女子ワールドカップで日本初優勝。 アップル社元 CEO スティーブ・ジョブズさん死去。北朝鮮・金正日総書記が急死。
2012 (平成24)	北校舎と第2体育館が取り壊され、仮校舎が設置された。1～5年は仮校舎にて授業を実施。	東京スカイツリー開業。 九州北部豪雨発生。 イギリス・ロンドンオリンピック開催。 任天堂「Wii U」発売。 安倍晋三内閣、再び発足。
2013 (平成25)	開校140周年記念事業が行われ、北校舎の建築が始まる。合唱団NHK合唱コンクール県大会金賞受賞。	「富士山 信仰の対象と芸術の源泉」世界遺産登録。 日本人の女性の平均寿命が世界1位に。 「和食」の食文化、ユネスコ無形文化遺産に登録。
2014 (平成26)	現在の北校舎が竣工され、竣工式が行われる。	ロシア・ソチ冬季オリンピック開催。 ソニー「プレイステーション4」発売。 消費税8%に引き上げ。 「富岡製糸場」世界遺産登録。 御嶽山噴火。長野県北部でM6.7の「長野県神城断層地震」発生。



学校表彰関係(平成24年度～令和5年度)

金管バンド				
平成27年度	第27回	長野県小学校バンドフェスティバル	ステージ部門	グレートフル・ミュージック賞
平成28年度	第28回	長野県小学校バンドフェスティバル	ステージ部門	スピリチュアル・サウンド賞
平成29年度	第29回	長野県小学校バンドフェスティバル	ステージ部門	スマイルサウンド賞
平成30年度	第30回	長野県小学校バンドフェスティバル	ステージ部門	
平成31年度	第31回	長野県小学校バンドフェスティバル	ステージ部門	ダイナミックサウンド賞
令和3年度	第33回	長野県小学校バンドフェスティバル	ステージ部門	スマートアメリカンサウンド賞

花壇コンクール		
平成30年度	フラワー・ブラボー・コンクール	優秀賞
令和2年度	フラワー・ブラボー・コンクール	参加賞

合唱団・学校合唱				
平成24年度	第48回	SBCこども音楽コンクール	長野大会	かんでんば賞
平成25年度	第49回	SBCこども音楽コンクール	長野大会	優秀賞
平成27年度	第51回	SBCこども音楽コンクール	長野大会	優秀賞
平成28年度	第52回	SBCこども音楽コンクール	長野大会	かんでんば賞
平成29年度	第53回	SBCこども音楽コンクール	長野大会	かんでんば賞
平成30年度	第54回	SBCこども音楽コンクール	長野大会	優秀賞
平成31年度	第55回	SBCこども音楽コンクール	長野大会	優秀賞
平成31年度	第55回	こども音楽コンクール東日本優秀演奏発表会	合唱部門出場記念	

合唱団				
平成31年度	第86回	NHK全国学校音楽コンクール	長野県大会	銀賞
令和3年度	第88回	NHK全国学校音楽コンクール	地区大会	銀賞
令和5年度	第90回	NHK全国学校音楽コンクール	地区大会	銀賞

その他		
平成24年度	学校体育優良校	表彰状
令和4年度	「人権の花」運動	感謝状

130周年から150周年の主な出来事

平成から令和に至るこの20年間で、様々な出来事がありました。2014年には新校舎が建設され、それに伴って竣工記念式典を行いました。2019(令和元)年には台風19号に見舞われ、次の年からは新型コロナウイルス感染症が流行。通明小学校にも大きな影響がありました。そして、2003年に埋めたタイムカプセルは長い時を経て、今年ようやく開封されます。

仮設校舎／建設中の新校舎／竣工記念式典

2012（平成24）年～2014（平成26）年

新校舎を建設中の間はプレハブの仮設校舎で学校生活を過ごしました。
また、引っ越しが終わった後は竣工記念コンサートを開催しました。



約2年半の間お世話になったプレハブの仮校舎

ありがとう仮設校舎

6年生 Aさん

初めは、床がずれて変な感じもしたけど、すっかりなれました。エアコンがあって涼しいし、教室も広がったなあ。

1年生の教室と近かったので、たくさん遊ぶことができたこともいい思い出です。

新校舎に引っ越し

2014（平成26）年9月

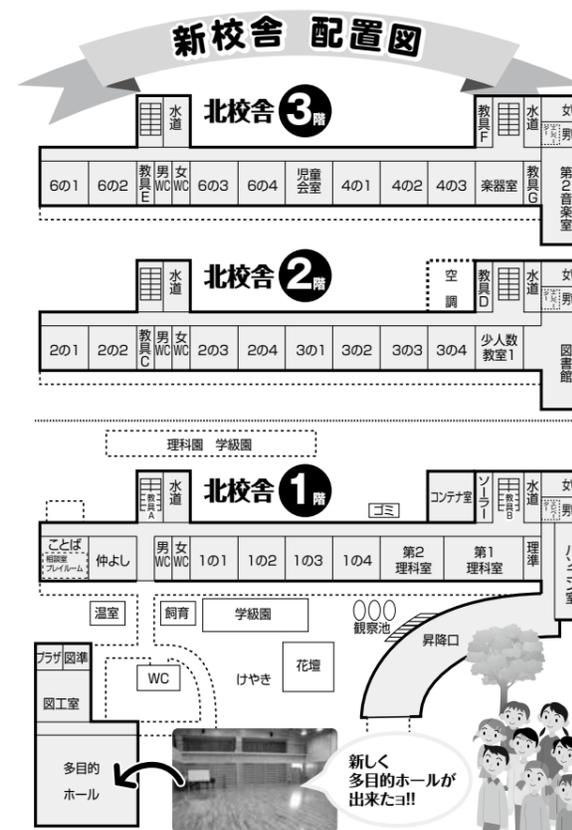
新校舎への引っ越し作業は9月24日の午後、子供達が自分の机や椅子など荷物を移動しました。
その後、業者、PTA、教職員と総勢250名を超える人数で作業を行いました。



竣工記念コンサートで思ったこと

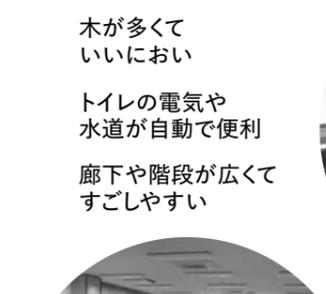
5年生 Kさん

私は、金管をやっているんで、若林万里子さん達と一緒に、迫力のある演奏ができて嬉しかったです。また、楽器の豆知識も分かりやすく勉強になりました。



桐の木を前にしてカーブしているのがかっこいい

図書館が広くてどこに本があるか迷ってしまう



木が多くていいにおい

トイレの電気や水道が自動で便利

廊下や階段が広くてすげやすい



テレビ、黒板が動かせて、見やすいし使いやすい

窓が多くて風通しがいい



通明大運動会 in ホワイトリング

2014 (平成26) 年6月

新校舎建築に伴う校庭への仮設校舎設置により、校庭での運動会開催が困難であることが分かったのが、2012年。それから一時は、運動会の開催を見送らざるを得ないのではないかと、運動会開催そのものが危ぶまれる中、ホワイトリングでの運動会開催にこぎつけた2013年。そして、その反省を生かして運営できた2014年。児童達は最後まで精一杯の力を出しきって、ホワイトリングで輝くことができました！



6年 組体操



1年 玉入れ



2年 ワンピース



3年 台風の日



4年 ソーラン節



5年男子 騎馬戦



5年男子 騎馬戦

気持ちを一つに 6年生 Mさん

皆で協力し、大変な時もあった練習の時間。そんな時間ものりきっていいよ本番です。練習では「もうやめたい」と思った事もあったけど、やりとげた時のうれしい気持ちが小学校最後の思い出になったと思いました。最後に皆と手をとってよろこべてよかったです。

篠ノ井地区の水害

2019 (令和元) 年

大型で非常に強い台風19号が、2019年10月12日夜から13日にかけて東日本を縦断しました。長野県内にも強烈な風雨を伴って12日夜に最接近し、長野市で千曲川の堤防が決壊するなど、千曲川流域の東北信を中心に大きな被害となりました。

千曲川から越水した篠ノ井地区は、371ヘクタール、1,969世帯(4,683人)と長野市で最多の浸水被害に見舞われました。通学区内では、御幣川、東西横田、会、昭和区において700世帯を超える床上・床下の浸水被害が発生しました。岡田川からの越水は、見六橋から御幣川五差路方面へ勢いよく流れ、その流れは東側(会、横田区方面)へと向かいました。



御幣川五差路(10月12日未明)



篠ノ井東中学校(10月13日朝)

【当時の通明小学校教頭・五味先生の証言】

- 12日夜に御幣川五差路まで水浸が来たとの連絡があり、19時すぎに学校に向かった。
- 避難所として学校を開放し、夜中の2時ころには50名程度の方がいたと思う。
- 明け方、避難所から帰る人もいた。次の日、教師が学校に集まり、被害状況の確認を行った。
- 被災家庭に電話し、状況を確認した。14日(月)の登校時には教師が分担して通学路に立った。
- ランドセルや教科書などが水に浸かり、児童たちは怖さや不安を抱えながらの登校だったと思う。
- 教師たちは、児童たちに個別に声をかけたりして、こまめに対応した。
- 低学年の児童たちは、状況がつかめず、よくわからずに不安を抱えている子もいた。友達と明るく遊んでいても、気持ちがどこか沈んでいる様子が見えた。
- 高学年の子供の作文の中には「まさか自分の家が被災するとは思わなかった」「びっくりして、最初はどうなるかと思ったけど、ボランティアの方が家の片付けの助けに来てくれた様子を見て、ありがたいと思い、とても感謝しています」と当時の心情が書かれていた。

コロナ禍の通明小学校

2020（令和2）年～

2020年、新型コロナウイルスの世界的な流行により、これまでの生活環境ががらりと変わってしまいました。通明小学校に通う児童達や先生方は、様々な不安がありながらの学校生活でしたが、対策をしながら乗り越えていきました。

入学式(2020年4月)



分散登校(2020年5月～)



分散登校 三年四組担任(当時) 市川寿美枝先生

お子さんたちにも担任たちにも初めての経験「分散登校」。密を避けて四つの机で一人分の学習スペースを確保。広い教室での少人数学習では、ゆったりとした気分になりました。体ほぐしの時間では、お子さんたちが一人ずつ大縄跳びでの「郵便屋さんの落とし物」にチャレンジでき、少人数ならではの良さがありました。おいしいサンドパンを笑顔で頬張る姿に、今後も元気で心から願いました。

コロナ禍での授業(2020年)



大豆作りを通して 2年3組担任(当時) 佐藤淑先生

2年生は、生活科で大豆を育てました。一人ずつ種から育てました。夏には、雑草が大きくならないように、草が小さいうちに足ですりつぶす「すりすり攻撃」をしました。秋になり、いよいよ収穫。一つぶの大豆から、二百つぶ以上の大豆がとれることも分かりました。今年はコロナの影響で、きなこ作りなどできませんでしたが、各家庭で味わっていただけたと思います。

復活した音楽会(2021年10月28日、29日)



小学校生活最後の音楽会 6年生Fさん

去年は新型コロナウイルスにより開きできませんでした。今年是对策のため学年ごとに分かれて発表しました。どの学年のクラスも良かったです。そして、6学年の発表です。先生に言われたことに注意して歌ったら、過去最高に歌えました。大きなはく手もらえ、うれしかったです。小学校生活最後の音楽会を最高の歌でしめくくれて良かったです。

創立130周年記念 タイムカプセル『夢』開封

2003 (平成15) 年→2023 (令和5) 年

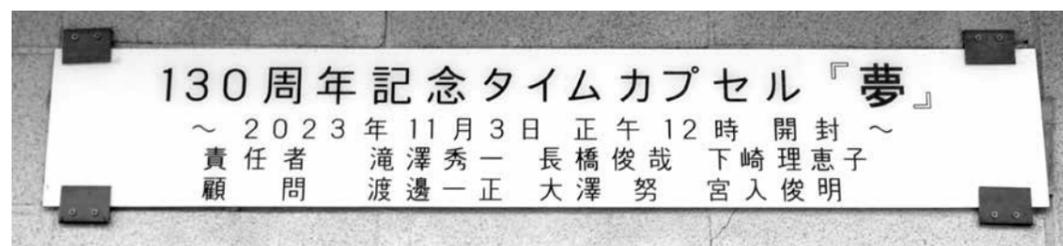
2003 (平成15) 年の創立130周年記念事業の1つとして、タイムカプセル『夢』を埋設し、全校児童が思い思いの記念の品を入れ、20年後の開封を約束しました。

令和5年11月3日にこのタイムカプセルを開封し、児童として在籍されていた皆様に収蔵物を返却するイベントを開催する予定です (2023年9月現在)。埋めた当時、6年生だった子供達は32歳の年での開封になり、20年前のメッセージや記念の品物に懐かしさを感じる方も多くいらっしゃると思います。



タイムカプセルの思い出 平成15年度児童会副会長 杉本陽太

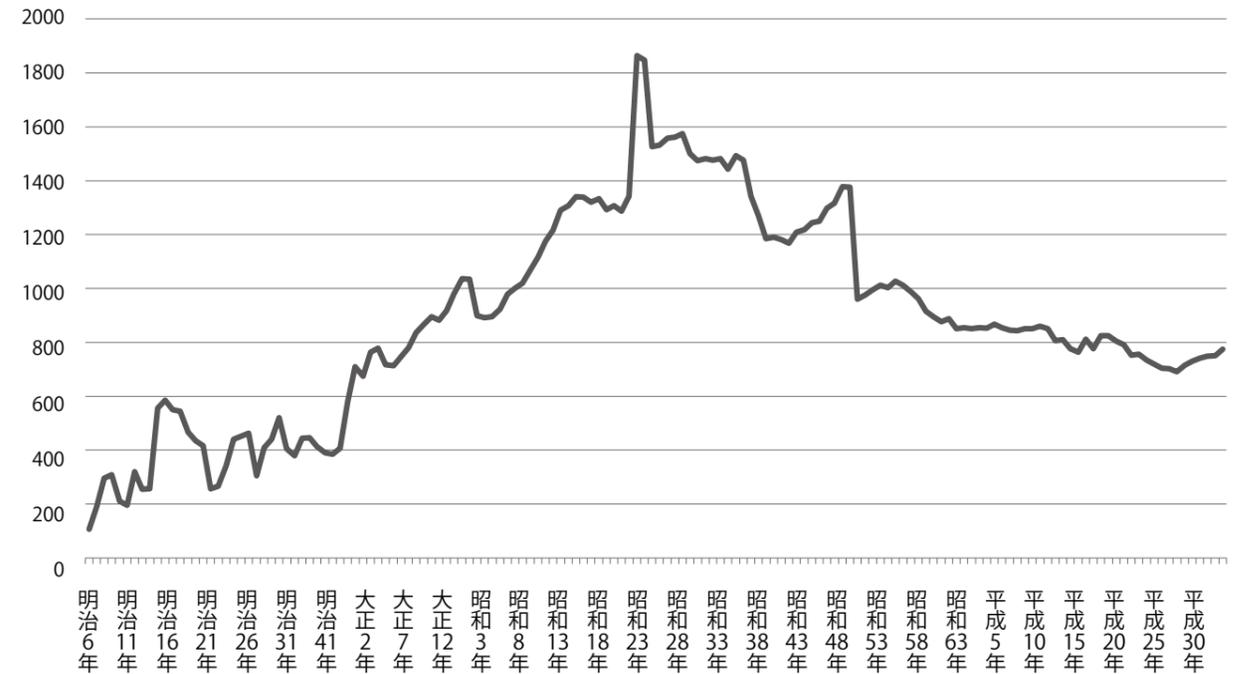
「タイムカプセルを埋めよう!」そんな話となり、「じゃあ、児童会活動のアルミ缶回収の収益を使おう!」と、朝早く登校して、子供ながら健気に正門前で回収活動していたことを鮮明に覚えています。当時の多くの方々に支えられ埋めることのできたタイムカプセルについて、この20年間、11月3日「文化の日」に開封することを忘れた時は一度もありませんでした。いよいよ開封となり、当時の一人一人の大切な「夢」を今へと紡ぐことができることに感謝申し上げます。



通明小学校の児童数の推移

縁故疎開を受け入れた昭和19年頃から児童数が大幅に増加し、昭和20年には開校以来最多となる1,864名の児童数を記録しました。昭和48年から同49年にかけては、篠ノ井西小学校の開校に伴う通学区の変更が行われ、児童数が400名以上減少しました。少子化に伴う学校統廃合や小規模校化が進んでいますが、通明小学校は長野市でも有数の大規模校として現在に至っています。

児童数の推移



年次	児童数	年次	児童数	年次	児童数	年次	児童数	年次	児童数
明治6年	107名	明治31年	520名	大正12年	1035名	昭和23年	1531名	昭和48年	1375名
明治7年	190名	明治32年	405名	大正13年	899名	昭和24年	1557名	昭和49年	960名
明治8年	296名	明治33年	380名	大正14年	892名	昭和25年	1561名	昭和50年	976名
明治9年	309名	明治34年	445名	大正15年	895名	昭和26年	1574名	昭和51年	995名
明治10年	211名	明治35年	446名	昭和2年	924名	昭和27年	1501名	昭和52年	1013名
明治11年	196名	明治36年	413名	昭和3年	979名	昭和28年	1475名	昭和53年	1003名
明治12年	321名	明治37年	390名	昭和4年	1002名	昭和29年	1481名	昭和54年	1027名
明治13年	256名	明治38年	386名	昭和5年	1020名	昭和30年	1476名	昭和55年	1012名
明治14年	257名	明治39年	408名	昭和6年	1070名	昭和31年	1481名	昭和56年	989名
明治15年	555名	明治40年	578名	昭和7年	1117名	昭和32年	1443名	昭和57年	962名
明治16年	585名	明治41年	710名	昭和8年	1176名	昭和33年	1493名	昭和58年	915名
明治17年	551名	明治42年	674名	昭和9年	1217名	昭和34年	1476名	昭和59年	895名
明治18年	545名	明治43年	763名	昭和10年	1290名	昭和35年	1343名	昭和60年	877名
明治19年	466名	明治44年	778名	昭和11年	1307名	昭和36年	1270名	昭和61年	887名
明治20年	435名	大正元年	717名	昭和12年	1340名	昭和37年	1185名	昭和62年	851名
明治21年	416名	大正2年	713名	昭和13年	1339名	昭和38年	1190名	昭和63年	855名
明治22年	257名	大正3年	747名	昭和14年	1320名	昭和39年	1181名	平成元年	850名
明治23年	266名	大正4年	781名	昭和15年	1333名	昭和40年	1169名	平成2年	854名
明治24年	342名	大正5年	836名	昭和16年	1293名	昭和41年	1208名	平成3年	853名
明治25年	441名	大正6年	865名	昭和17年	1308名	昭和42年	1219名	平成4年	868名
明治26年	451名	大正7年	896名	昭和18年	1286名	昭和43年	1245名	平成5年	854名
明治27年	463名	大正8年	882名	昭和19年	1343名	昭和44年	1249名	平成6年	845名
明治28年	306名	大正9年	917名	昭和20年	1864名	昭和45年	1298名	平成7年	844名
明治29年	410名	大正10年	980名	昭和21年	1847名	昭和46年	1317名	平成8年	851名
明治30年	440名	大正11年	1036名	昭和22年	1527名	昭和47年	1378名	平成9年	851名



地域のみなさんに見守られて150年



第40代校長
芳原慶子

通明小学校開校150周年、おめでとうございます。

3年間お世話になった日々、たくさんの素敵なお話を伺うことができました。浮かんできた場面のほんの一コマです。

中庭に歌声を届けるプロジェクト。700人を超える子どもたちが気持ちを一つにした歌声。玄関の桐の木の紫の花。「今年も咲いてくれた!」

授業中、お友だちと一緒に考えたり、作ったり、楽しそうな顔、顔。

休み時間、中庭の木の大きな木陰で楽しそうに声を上げて走り回る子どもたち。同じころ、図書館では好きな本を手にして静かに読みふける姿。

精一杯自分の力を発揮する運動会、音楽会、学年の行事。それを支える先生たちの笑顔。台風19号で大きな被害を受け、不安そうな顔をしていた避難所での姿。台風後の登校の朝、学校に元気な声が響いた時のほっとした気持ち。

北海道にも通明小がある!篠ノ井から移住した方たちの故郷への熱い思い。実際に訪れて感じた当時の方たちの「通明小」という誇り。

そして、子どもたちと学校を支えてくださる、保護者や地域の方たち。困ったときにすっと手を差し伸べてくださる温かさとおもひやり。

小さな一日の積み重ねの上に150周年があり、これからまた新たな日々を積み重ねていくのでしょう。いつまでも地域に愛される、子どもたちがすくすく伸びていく学校であることを願っています。通明小に出会えたことに感謝です。



通明小学校の思い出 ～通明小学校創立150周年を迎えて～



第38代校長
酒井好和

私は、平成25年4月から平成27年3月まで、2年間お世話になりました。北校舎改築工事のため、グラウンドに仮設校舎が建ち、体育などで十分に体を動かすことは制限されましたが、子ども達は毎日元気いっぱい活動していました。以下、たくさんの思い出の一部を箇条書きで綴ります。

- 1 ホワイトリングでの運動会。初めてのことでしたが、先生方の緻密な計画、PTAの皆様のご多大なご支援、子どもたちの頑張りなどで大成功でした。通明小だからこそ出来た運動会だと思います。
- 2 会議に出かけようと中庭の横を通っていた時、遊んでいた2年生が「校長先生、お仕事頑張ってください」と声をかけてくれました。「この子たちの期待に応えなければ…」と、気が引き締まりました。
- 3 4年生の男の子が「校長先生にこれあげる」と言って、自作の『爪楊枝立て』をプレゼントしてくれた。素晴らしい出来栄で、今でもわが家の食卓で使っています。
- 4 離任式を終えて、校長室で休んでいた時、2人の男の子が「校長先生、ありがとうございました」と入ってきました。彼らから、花紙で作った花を画用紙の真ん中に留め、鉛筆書きで心をこめたお礼の言葉が書かれた感謝状をいただきました。何よりも大事に今も飾ってあります。

先日、用事があり通明小を訪問すると、当時6年生であった子が教育実習で授業をしていました。逞しく成長していました。これからも通明小学校が益々発展することを祈念しています。

祝 長野市立通明小学校150周年 ～コロナ禍の3年間を逞しく～



第41代校長
高野直樹

令和2年2月27日の夕方、3月2日から全国一斉休校の発表があり日本中に激震が走りました。卒業式を控え、年度末の大切な時期でした。

私は令和2年4月から3年間、通明小学校でお世話になりました。まさに、コロナ禍の真っ最中、何とか令和2年度の入学式は行えたものの、その数日後からは休校に、その後も5分の1または2分の1の分散登校等の日々でした。今と違い一人1台端末も整っていませんでした。学習はプリント中心に、そのプリントもどのように配るのかが問題に。児童の下駄箱にプリントを入れ、ドライブスルー方式での配布等、常に職員全体で知恵を出し合いながらこの難局を乗り越えようとしてきました。

一番苦労したのは6年生の修学旅行でした。本来ならば東京への修学旅行、国会議事堂や大相撲観戦等予定していましたが当然キャンセル。その後、北陸方面への計画も感染拡大で無理になりました。一生に一度の小学校の修学旅行、何とか泊りで実現したかったのですが、その後予定した白馬や松本も感染拡大で無理になりました。6学年の先生方が何回も計画を変更しながら、12月下旬、諏訪への1泊2日の修学旅行が実現しました。同窓会長渡邊様のご厚意で諏訪の夜空に打ち上げられた通明小学校6年生のための打ち上げ花火は一生の宝物です。

コロナ禍という今まで経験したことのない難局の中、通明小学校の子どもたちが逞しく成長してきたのも、同窓会の皆様をはじめ地域や保護者の皆様のお支えがあったからこそだと思います。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

心が通じ合った韓国交流



第39代校長
大日方貞一

私は、平成27年から2年間通明小学校にお世話になりました。子どもたちの美しい歌声、子どもたちが創り上げる学校行事等、在任中の思い出はたくさんありますが、韓国の清州市にある大成初等学校との交流も懐かしい思い出です。

交流は、一年ごとに両校を訪問し合い、相互理解と友好を深め合う形で行って来ていました。しかし、私が赴任した時には、諸事情により交流が中断していました。子どもたちが、海外の同年代の子どもたちと交流することは、異文化に触れることができ、グローバルな視点を育んでいくために貴重ですので、交流再開を強く願っていました。

願い叶って、翌年には大成初等学校から子どもたちと先生方13人をお迎えし、5日間の日程で念願の交流を行うことができました。全校での交流会、各クラスでの交流学習などで見られた両校の子どもたちの笑顔は、今でも鮮明に思い出されます。まさに、言語、文化は違っても、互に通じ合ったひと時でした。また、充実した交流に向けた、職員と保護者の方々の綿密な打ち合わせ、児童会を中心とした子どもたちの企画等も、通明小学校ならではのものでした。

ここ4年程はコロナ禍でしたので、大成初等学校との交流も途絶えていたものと思われます。しかし、コロナも落ち着き、以前の日常に戻つつある今、交流再開も近いのではないのでしょうか。韓国は隣国です。両国間には古来より様々な交流があり、互いに影響し合ってきました。時として関係がぎくしゃくすることもあります。子どもたちの交流は今後も大事にしてほしいと願っています。

通明小学校の思い出



平成2年卒業
島田秀平

タレント（作家、YouTuber、手相芸人）

清き1票をよろしくお願ひします！ゴッソ…。わはははははは…。勢いよく頭を下げて無事に選挙演説を終えたはずの体育館に、笑い声が溢れました。極度の緊張の中、お辞儀をする目測を誤りマイクに頭を強打していたのです。終わったーっ！でも結果は嬉しいことに。そんな美味しいハプニングも味方してくれ、僕は6年生の時に選挙で選んでもらい児童会長を務めさせていただくことができました。もう今から、30年以上も前の宝物の思い出です。

そんな演説ですから、そこにいた全員、僕が話した内容などは吹き飛ばしてしまい忘れてしまったことでしょう。

ただ、その時僕はみんなに向かって、僕が児童会長になったら、こんな公約を掲げたいです。

「その日は勉強なくていい、お祭りみたいな日を作ります！名前は、通明子供祭りです！！」

先生方にもたくさんのご尽力をいただき、記念すべき第一回目は、全校生徒参加のクイズ大会、クラス対抗の仮装行列を無事に執り行うことができました。

それから30年の時を経て今現在、数年前に通明小学校を卒業した甥っ子や、在学中の姪っ子にわざと聞かれます。「ねえ、まだ通明子供祭りってやってるの？」「うん、やってるよ」「へー、そうなんだ」「楽しい？」「楽しいよ」「へえ…」。

その度に、嬉しいなんとも言えないあったかい気持ちになると同時に、マイクにぶつめたあの頭の痛みが心地よく甦るのです。

通明小学校の思い出 ～通明小学校創立150周年を迎えて～



平成19年卒業
三ツ井利也
プロバスケットボール選手
信州ブレブウォリアーズ所属

新しく始まる学校生活に期待と不安を入り交ぜながら門をくぐった小学校1年生の春、通学路の歩道橋に足をすくませながら登校班長の後ろを歩いたのを今でも鮮明に思い出します。

私にとって一番の思い出は合唱曲「桐の木の下で」が誕生したことです。この曲は在学中、とても大切に歌った曲ですし、これからも在校生の皆さんがこの曲を大切に歌い継いでくれることを心から願っています。

そんな楽しい思い出がほぼ10割に近いと言っても過言ではないですが、クラス発表の為に芸人さんのモノマネを必死に練習していたのにも関わらず、前日に胃腸炎を発症し佐渡島臨海学習を欠席してしまったのが僕の唯一の後悔です。しかし私は、この学校生活の中で多くの友人と出会い、そして夢を叶えるきっかけを与えてくれた親友と出会います。彼がいなければ今この文章を書いている事はなかったと思います。

新型コロナウイルスの影響により、学校生活において様々な制限をかけられてしまい、学校生活が息苦しく感じたかもしれません。ですが、この小学校で学んでいくことは今後の中学、高校と進んでいく中で基礎になる貴重な時期です。在校生の皆さんには1日1日をかけがえのないものにしてもらい、今までの制限を取り返すくらい精いっぱい楽しんでください。

音楽会の思い出



平成16年卒業
高野清宗
音楽家（ベーシスト）
ex-Mrs. GREEN APPLE (2014～2021年在籍)

この度は、通明小学校の創立150周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

さて、私が通明小学校に在学していたのは今から約20年前のことになります。中でも一番鮮明に覚えている出来事は、4年生の時の音楽会でトライアングルという打楽器を演奏したことです。本当は人気のアコーディオンを弾きたかったのですが、ジャンケンに負けてトライアングルになってしまい、演奏する事はリズムに合わせて叩くシンプルな動作なので、最初はやる気が起こりませんでした。しかしパートは私一人しかいなかったのも、ミスしないように精一杯練習し、迎えた本番ではアンサンブルを盛り上げる為に周りを見ながら一生懸命に演奏しました。その時、誰かと一緒に音楽を演奏する事の楽しさと嬉しさを覚えたのです。

そして現在、私は音楽の仕事をしています。ありがたいことにメジャーデビューもさせて頂き、バンドでベースを担当したりもしました。通明小学校で得た経験が今の私に繋がっていると思うと、とても感慨深く思います。

最後に、輝かしい歴史を誇る通明小学校のますますの発展と、これからの未来を担うたくましい児童が育ちゆく場であり続ける事を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

音楽の原点



平成5年卒業
若林万里子
音楽家（トランペット奏者）
サイトウキネンオーケストラメンバー

私が通明小にいた6年の間に年号は昭和から平成に変わり、長野での冬季五輪の開催が決まり、県内全体が盛り上がっていたように思います。ちびまる子ちゃんのテレビ放送が始まり、私もまるちゃんのようなお調子者でのんびりした小学生でした。

私は3歳からピアノを習っていて音楽が大好きでした。通明ではたくさんの歌を習ったのでその歌を友達と歌いながら帰っていました。その中でも6年生の時にみんなで歌ったフィンランディアは本当に素晴らしい体験で深く記憶に残っています。

4年生の秋に金管バンドの募集があり憧れのトランペットを担当できることになりました。初めは限られた音域しか吹けませんでした。少しずつ練習を重ねていくうちに吹ける曲が増えていきました。その当時流行っていた「どんなときも」や「ドラゴンクエスト」など色んなジャンルの曲を演奏出来るのが楽しく、夢中で練習しました。金管バンドは学校の運動会のパレードや篠ノ井のびんずるでも演奏しました。みんなで音楽をする楽しさを知った私は中学に行っても吹奏楽部でトランペットを続けようと決意しました。

ただ夢中になって続けていたトランペットでしたが、今はプロになり音楽の楽しさ、素晴らしさを伝えていく立場になりました。通明でたくさんの音楽と出会い、経験したことが私の原点だと思っています。

挨拶が溢れる学校に

通明小学校が創立150周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

私が児童会長になりたいと思ったきっかけは、2人の兄が児童会長をしていたからでした。同じように児童会長をやってみたいという軽い気持ちで立候補しましたが、なったからには責任を持ってやり遂げようと思いました。

私の児童会長としての一番の目標は「挨拶が溢れる小学校にする」ことでした。私自身それまでは挨拶が得意というわけではありませんでしたが、自分から先生や友達と挨拶をすることで自然と笑顔になることができました。挨拶の大切さを感じていたので、挨拶が溢れる小学校を目指すと共に自分自身も変わりたいと思っていました。

目標を達成するために私がやったことは、正門前に立ち、学年問わず色々な人たちに「おはようございます！」と元気に挨拶をする“おはよう運動”でした。児童会メンバーと協力して続けることで、段々と元気に挨拶をしてくれる人たちが増えて、学校全体が明るくなってきたように感じました。挨拶をすることの大切さを知ることができた1年間だったと思います。

大学生となった今でも、自分から挨拶をするように心掛けています。またこの先、社会人になっても挨拶で周りの人たちと良い雰囲気づくりをしたいと思っています。

この先何年も何十年も通明小学校が挨拶で溢れる、とても明るい小学校であることを願っています。この度は創立150周年、誠にありがとうございます。



平成26年度児童会長
柳澤美羽

児童会長の思い出

通明小学校創立150周年を迎えられたこと誠にお祝い申し上げます。この度は150周年記念誌の寄稿文執筆を仰せ仕りましたので、ここに記させていただきます。

私が児童会長時の印象に残っている出来事は、冬のマラソン大会です。その当時6年生で友達とよく一緒に走っていましたが、低学年の児童も多く走っていて通明小学校に冬ながら活気づいていて心地よいと感じていたのを今でも鮮明に覚えています。全校の児童全員で歌う校歌のハーモニーも忘れられない思い出の一つです。高校、大学と進学するにつれて合唱の良さを痛感する部分が多くあります。歌声を響かせ、合わせて生まれるものは今しか体験できない貴重な宝物だと感じています。私はその当時、合唱の良さに気づいていなかった一人の人間として、いま合唱を歌うことのできる児童全員にその良さを知ってほしいと思いますし、一生懸命歌うことが後々良き思い出になると思います。

短いですが私のエピソードを通して何かを感じていただけたら幸いです。



平成27年度児童会長
吉岡洋

通明小学校の 児童会長を経験して

私が通明小学校の児童会長を務めた時の思い出は、率直に言ってあまり良いものばかりでは無い。小学生だった私は、その後に待ち受ける苦労を全く想像することなく児童会長選挙のクラス代表に立候補した。当時の私は児童会長の仕事など簡単にこなす事が出来るだろうと考えていた。そして選挙で当選し児童会長となったが、すぐさま自分の思い上がりを後悔することになる。まず辛かったのは、自分のミスが他人に迷惑をかけるだけでなく組織の運営に支障をきたしてしまう事だった。そこから組織を運営することに伴う責任というものも学んだ。次に、社会の理不尽さの一端を感じたこともあげられる。各委員会の委員長に臨時委員会の連絡をする際に放送を使ってはいけないなど、今思えば納得のいかないルールも多かった。私とその理不尽さに耐えかね、仮病などで嫌な事から逃げる事を覚えたのもこの時期である。このような経験から、私は何事に対しても責任感を持つことと「最悪辛いことから逃げれば良い」という信念を学んだ。これは今の自分に欠かせないものであり、児童会長を務めて良かったと今では思う。

児童会長を経験して

私にとって通明小学校で児童会長を務めた日々は、私とその後の学校生活の様々な場面でリーダーシップをとることの礎となっていると感じる。

特に思い出に残っているのは、児童会長の挨拶の原稿についてのことだ。

自分で書き上げた原稿を先生にチェックしていただく時、4月には全体に入っていた赤ペンが3月には殆どなくなっていたこと。

最初は無言のまま書き込んでいた間の開け方や顔の上げ方を、肌感覚でできるようになっていったこと。

このような成長を自覚するたびに自信が付き、人前に出ることが好きになっていった。

児童会長を務め、私は自分から様々なアクションを皆に投げかけ、そして先頭に立って、時には後ろから支えて、共に進んでいくことの楽しさを学んだ。これまでリーダーとして活動する中で勿論大変なことも沢山あったが、それでも前に立ち続けたのは、先生方や友達からの励ましを受けて成長できた、通明小学校で過ごした1年間があったからこそであると感じる。

今年度私は高校3年生になり、副生徒会長を務めている。児童会長として積んだ経験をもとに、生徒会長を支える縁の下の力持ちを目指して日々活動している。

最後になりますが、通明小学校の益々のご発展をお祈りし、私からの挨拶とさせていただきます。



平成29年度児童会長
柳澤奈優



平成28年度児童会長
黒澤遥樹

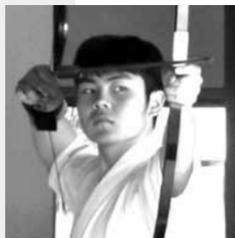
「変わらぬもの」

友達100人できるかな？そんな大きな期待と、大きなランドセルを背負い私は通明小学校に入学しました。

入学当時はまだ新校舎の建設中だったので、完成までの2年間は仮設校舎で学校生活を送りました。当時は不便に感じましたが、今となれば貴重な2年間だったと思います。当時のナンバーワン人気の遊びは、鬼ごっこでした。お昼休みになるといつの間にか仲間が集まってきて、皆で敷地内を走り回っていました。よく飽きずにやっていたものです。単純な足の速さでは敵わない相手もいて、そんな時によく身を隠した場所が築山です。まだ体の小さな小学生にとって築山はとても大きく絶対的なものでした。そんな築山も今となっては小高い盛土、程度にしか感じなくなっていました。時は流れているのだと得も言われぬ気持ちになります。

通明小学校は明治初期という時代が変革して間もない頃に開校しました。これから150年先の未来にはどのような出来事が待ち受けているのでしょうか。私のような若輩者が言うにはいささか早いかもしれませんが、どんなに時が経とうとも、変わらぬ子供たちの笑顔あふれる学校であって欲しいと願っております。

それではこの辺りで筆を置かせていただきます。通明小学校の益々のご発展を切にお祈り申し上げます。



平成30年度児童会長
栗林航平

通明小学校の思い出

通明小学校創立150周年おめでとうございます。4年生になり、金管バンドに入り、ユーフォニアムを演奏。最初はなかなか音が出ずに、くじけそうになりましたが、先生方の指導や友達同士で励ましあいながら徐々に上手になっていくことに喜びを感じる事ができました。

- 修学旅行もいい思い出です。遊園地で、ジェットコースターに乗りました。そこまで怖くないだろうと思い、軽い気持ちで乗ったところ、とんでもなく怖かったことを覚えています。それから、消灯までゲームやおしゃべりをし、この時間が長く続けばいいと思うほど楽しい時間でした。

- 最後に児童会長です。私は、クラスで推薦され候補者となりましたが、演説文が書けず悩みました。担任の先生にご指導いただき、演説までになんとか文章を仕上げ、後は結果を待つのみ(まさか、当選しないだろう)と思っていたところ、選挙結果をみてびっくり。まさか自分が選ばれるなんて。不安しかありませんでした。ですがいざ、児童会長の仕事が始まると、副会長や、児童会委員の皆さんに支えていただいたおかげで、行事の企画内容をみんなで話し合い、なんとか予定していた活動を実現する事ができました。この経験からまずやってみる事、仲間と助け合う事の大切さを学びました。みなさんも友達を大切に一生の思い出に残る小学校生活を送ってください。



令和元年度児童会長
箱山結衣

話し合うことの大切さ

僕が児童会長時代に一番印象に残っているのは「副児童会長との話し合い」です。

2020年に学校のリーダーになりましたが、当時は新型コロナウイルス蔓延により前例のない生徒会を行わなければならなくなりました。今では当然のように行われていた企画が、蔓延防止の理由のため継続できなくなってしまい、コロナに順応した企画に変更する必要がありました。コロナ対策はできているか、全校生徒が求めている企画なのか、「自分は生徒会長」という立場を考えてもどうしようもない課題ばかりで、無力感を味わっていたある日、副会長と話し合いをする機会ができて、思い切って企画について相談したところ、自分では出てこなかったであろう案や問題点をたくさん出してもらえました。この時に「新たなものをゼロから作るには、たくさんの意見を出し合っ作り上げる」ということを学びました。この考えは今の自分でも大切にしていることで、たくさんの人と議論を交わし理想へと近づけていくことを生かしながら中学校の委員会で活動しています。

これからも、小学校で学んだことを忘れずに頑張っていきたいです。



令和2年度児童会長
寺澤葉之介

児童会での思い出

私が児童会長だった時はコロナ禍だったため、それが児童会活動にも大きく影響したと思います。例年通りできないことが多かったなかで特に印象に残っていることは通明子ども祭りです。児童会が中心となって企画していったのですが、感染予防対策など考えなければならないことが多くありました。しかし、コロナだからこそできることをしようと全員で協力し、通明子ども祭りの準備をすることができました。中に入る時の手指消毒や密にならないように心がけるなど対策を考え、仲間とともに一生懸命やったからこそ通明子ども祭りはとても楽しく、思い出に残る行事となりました。また自分が低学年の頃は行きたいところに行っているだけでしたが、6年生になり、実際に違う立場に立ったことでいろいろな人のがんばりや支えがあって児童会活動が成り立っていることにも気が付くことができました。

- 私はもともと人前に出るタイプではなかったのですが、児童会活動でたくさんを経験したことで成長することができました。なかなかうまくいかないことや大変なこともありましたが、1年間の活動は楽しい思い出となりました。



令和3年度児童会長
山本天音

児童会長の思い出

僕が児童会長になって特に印象に残ったエピソードは二つあります。

一つ目は、通明子ども祭りです。通明子ども祭りは、それぞれの委員会で企画・運営し、全校児童が参加する大きなイベントです。当日をむかえるまでに、どのような企画がみんなに楽しんでもらえるかということを何度も委員会で話し合いました。そこでの話し合いや準備を通して、児童会のみんなの一体感を高めることができました。

二つ目は、代表委員会のあいさつの当番活動についてです。代表委員会では、今までのあいさつの当番活動だと、あいさつを返してくれる人が少ないと感じていました。そこで、代表委員会で委員のみんなと意見を出し合い、当番活動の内容を改善しました。すると以前よりもあいさつを返してくれる人が増えたと感じました。今まで行ってきたことを継続して行うことは簡単ですが、問題点を改善したことで、あいさつが身近になったと感じました。

今振り返ると、児童会長を務めた一年間は僕にとって非常に大切な経験となりました。違うクラスの友達がたくさんでき、苦手だった人前で話すことも克服できた気がします。そして、児童会長を務めたことにより、責任感やリーダーシップの重要性を感じました。今後の僕の人生において自信を持たせてくれたこの思い出をこれからも大切にしていきたいと思っています。



令和4年度児童会長
飯島 航

笑顔で輝く通明小学校

150周年を迎えた今年の児童会のスローガンは『私がつくる、誰もが笑顔で仲良くなる輝く通明小学校』です。児童会は私たち一人一人が自分たちの生活をつくる活動です。その目的は、みんなが笑顔になることです。みんなが笑顔になるためには、みんなが仲良くなるのが大切です。そしてみんなが仲良くなり、笑顔になる通明小学校は誰が見てもキラキラ輝く通明小学校だと思います。

輝く通明小学校をつくるために、今年度、改めて委員会の目標を考え、その目標にあった委員会名にしました。生活向上委員会を生活安全委員会、ペルエコ委員会を生活環境委員会、新聞掲示委員会を広報委員会にし、それぞれにろうか歩行・SDGs・ホームページの記事・投稿に取り組んでいます。そして、ふれあい委員会では全校の知らなかったことやクラスの良さを書くつながり発見カードを作ったり、代表委員会ではあいさつを返してくれる人の数を数える当番活動をして、全校のみんなが仲良くなるための活動をしています。

私は、今年の児童会は自分から進んで活動をする会になってきたと思います。

10年後の2033年、22歳になっている私は160周年を迎える通明小学校に来て、通明小学校の皆さんに10年前のこと、卒業してから10年後のことを自信をもって話したいと思っています。



令和5年度児童会長
中村里咲



第1回 2022年4月30日



第2回 2022年7月9日



第3回 2022年8月27日

思い出を語る会

今回、マンガ記念誌を制作するうえで、通明小学校の歴史や出来事に関する具体的なエピソードを探る必要がありました。そこで通明小学校OB、OGの方々にお集まりいただき、3回に渡って「思い出を語る会」を開き、各々の思い出を語っていただきました。聞き役はマンガ制作担当の宮尾佳和さん(写真中央)。ここでは、マンガに反映されなかったエピソードを紹介します。

第1回 2022年4月30日

～昭和10年代～30年代前半の通明小～

須坂恒雄さん 昭和20(1945)年卒業

通明尋常小学校に入学して、3年生の時(昭和16年)、通明国民学校に変わりました。今まで男女一緒に共学だったのが、男女別のクラスになりました。そうして戦時体制に入ったわけですね。全て「耐え忍ぶ」で、「兵隊さんも頑張っているから子供たちも頑張れ」という時代でした。

体育館には正面に、大きな字で「忠孝」と書かれた大きな額がありました。「国に忠義を尽くせ。親に孝行を尽くせ」と年間を通じて教えられました。

「耐え忍ぶ」ですから、冬でも足袋を履かずに過ごしました。足袋・靴下がなかった時代ですね。いつも裸足でした。振り返ってみると、想像できないぐらい厳しい時代でした。

渡邊一正さん 昭和24(1949)年卒業

私は昭和18年4月に入学し、その年の6月には学徒戦時動員体制の確立要綱というのが出ました。とにかく体力を付けろとのことで、小学校に入って4月には川柳將軍塚、9月には玄峰院、10月には中尾山に徒歩で遠足に行きました。そして11月には創立70周年記念式典が行われました。

2年生になると東京からの疎開児童を受け入れました。その時には学徒動労令が発令されて、授業より勤労奉仕に力を入れろという状況でした。通明図書館、それから校舎の方に兵隊さん達が入って来まして寝泊まりをしていて非常に大変でした。

私どもは春に麦踏みをしました。それから、桑の木の皮をはぎ手がひどく痛かった。これは兵隊さんの洋服になるということで一生懸命やりました。それから千曲川まで行って大豆の種撒きをしました。遠足は、八幡神宮に戦勝祈願の遠足に行きました。

昭和20年の3年生の時、戦時教育令というものが出ます。通明学校学徒隊が結成され、校庭に大豆やもちこしを植えました。それから、篠ノ井地区で資材を持ち寄り、校内に防空壕を建設しました。砂を運搬したり、屋根に土を乗せる作業をしました。

翌年の4年生の時、忠信、国歴、地理の授業が廃止となり、武道庫にあった薙刀や武器の処理をしました。それから、今までの教科書を読めないように筆で墨塗をしました。当時は、給食がなく、非農家は貧しい思いをして

いました。正午には家に帰り、芋を食べて学校に戻っていました。

望月淑子さん 昭和23(1948)年卒業

幼少期は父の赴任先であった大阪で生活していましたが、大空襲があり、昭和20年に空襲を避けるために、父の実家である篠ノ井の横田に疎開しました。当初は母の実家の方にある西寺尾小学校に4年生の時入ったんですけど、5年生の時に通明小学校に転校しました。大きな学校であることに驚いて、疎開児童も多く、男女共学で1クラスに59名が在席していました。

学校から帰宅後は、農業に従事していました。肥溜めも妹と一緒に担いで畑に行ったのを覚えています。学校ではシラミがたかってしまって、毎日毎日一列に並んで薬を頭からかけられたのを覚えています。

体育の時間は楽しくて、ドッジボールでは男性を狙ったりして、爽快感がありました。まだ学校にはプールがなく、暑い日に千曲川までの遠い道のりを歩いて、週に何回か通っていました。男性は裸で、女性は上はシャツでブルマを着用して、水遊びをしていました。

村田美津子さん 昭和23(1948)年卒業

昭和16年に国民学校の1期生として入学しました。その年の12月8日に真珠湾攻撃があり、太平洋戦争が勃発しました。先輩に連れられて、布施神社に戦勝祈願に連れられて行かされたことを記憶しています。

昭和18年には、戦況がかわり、学校生活においても学徒動員が始まりました。3年生の時、勤労奉仕として、学校林に冬の暖房に使用する薪を切り出しに行きました。重い薪を担いで運んだことを覚えています。

昭和19年8月に、学童疎開が始まり、大阪、名古屋から疎開の児童が入学しました。縁故疎開は、身内を頼って疎開しますが、学校ごとに疎開した児童もあり、多くの児童が通明小学校にも転校しました。子供たちは母親が恋しく、泣いているので、もらい泣きしたことを覚えています。旧体育館には、青年学校があり、先生が出兵する際に、児童が泣きながら歌って送り出していたことを思い出します。

中嶋君忠さん 昭和28(1953)年卒業

昭和21年4月に通明小学校に入学しました。

篠ノ井空襲の時は、芝沢の自宅付近の防空壕の中で体験しましたが、空襲警報の後、しばらくたって防空壕から出たとき、ちょうど、篠ノ井周辺の機銃掃射を目撃しました。この時は、操縦士の顔が見える距離でした。当時、篠ノ井高校に着弾したロケット弾は不発弾であったと認識しています。薬きょうがパラパラと落下したことを目撃しました。

学校では、脱脂粉乳が美味しくて、とにかく食べられるものは、全て美味しく食べていました。修学旅行の鯨波地区の臨海学校は、海に入って、夜は楽しく交友を深めたことを思い出します。

高澤通泰さん 昭和26(1951)年卒業

戦中の思い出になりますが、篠ノ井に味噌工場があって、そこに高い煙突がありました。篠ノ井の空襲の時、その煙突が機銃掃射の目印になり、大した被害は生じなかったんですが、近所の屋根瓦が碎けて、薬きょうを拾ったことを思い出します。また戦時中は空襲が来ることに備えて、土蔵も目立ってはいけないと、黒く塗ったことを思い出しました。

当時は、家庭風呂がなく、友達と銭湯に行くのが楽しみで、お互い背中を流し合いた時代で、地元の友達と仲良く交流を深めていました。

宇都宮正一さん 昭和27(1952)年卒業

小学校の記憶は薄いけど、玄関のすこの前で、上履きに履き替えて、登校したことを覚えています。小学校では、クラス替えもなく担任の先生は6年間で2人でした。炎天下の中、徒歩で千曲川まで歩き、泳ぎに行ったことはよく覚えています。

4年生頃に、テープレコーダーの機材が学校に導入され、図書館に配置されました。当時、事業の一環として、新しい機械の紹介があり、テープレコーダーの機械の前でしゃべったり歌ったことが録音され、それがすぐスピーカーから聞こえてくることに非常に驚きました。当時からラジオはありましたが、録音については、非常に驚いたことを覚えています。

宮入正純さん 昭和31(1956)年卒業

当時の思い出は、入学式の翌日、好天の下、校門の前の門柱の桜が満開で、そこで入学記念の写真を撮ったこと

です。今で言うオリエンテーションで、先走って体育館に入って、飛び回っていたら、先生に怒られたことを思い出します。きっとヤンチャだったんでしょうね。

入学当時の下校時、篠ノ井駅の西側で、進駐軍に遭遇し呼び止められ、チョコレート、食パン、キャラメルをもらって非常に美味しかったことを覚えています。

6年生の時は、長野市の城山にあったNHKの社会見学を実施して、当日、先生と児童でラジオ劇を実演して、後日、そのテープを学校放送で放送したことがあり、強く思い出に残っている。

今、振り返ると、当時の学校生活はよかったかな、楽しかったかなと思います。

棚田涉さん 昭和31(1956)年卒業

私の在校時代は、昭和25年から30年の在校でした。当時の冬は厳冬で、登校前に保護者が雪踏みで歩道を整備する時代でした。冬でも外履きは下駄、裸足の時代で、校内での上履きは草履でした。授業で当てられる順番は、あいうえお順で、私は、当てられる前に宿題をやって助かっていました。夏休みの宿題は、最終日にやっていたのですが、当時は天気の記録があり、非常に苦労したことを覚えています。

冬の時期は薪ストーブで、焚き付けを各家庭から持ってきていたんです。親に縛ってもらって、一束にして持って行きました。

冬場は、弁当を学校のストーブで保温していました。大体はアルミ製の弁当箱で、椅子に並べて温めていました。それが途中からコッペパンに変わりましたね。お弁当を開けるとお米は大体真っ黒で、今で言う銀シャリというものはありませんでした。



第2回 2022年7月9日

～昭和30年代後半～50年代の通明小～

望月茂男さん 昭和40(1965)年卒業

思い出といっても、およそ60年程前の思い出です。その間に色々学校の建て替えもありました。卒業して1年生の時は通明中学、2～3年生の時は東中でした。覚えているのは池があって、千葉の学校で大賀蓮が発見され、その種を分けてもらって通明の池に植えて、1年か2年後に開花しました。大きな池だったのを覚えています。小学校4年生の頃(昭和43年)、90周年を迎えました。

中島俊文さん 昭和43(1968)年卒業

松代群発地震が一番の思い出です。校舎がかなり斜めになって、支える為に一階の木を打ったんですね。木造校舎の二階建てです。地震のその関係と、卒業の記憶がそんなになくて、確かその当時中学校が火事になって、残った体育館が第二校舎と言われてたのかなあ。小学校というイメージはなく、プレハブがあって新しく校舎が出来たんだなあという印象だけ。個人的にいうと、卒業までに担任の先生が3回か4回変わってるんです。

望月一彦さん 昭和43(1968)年卒業

プレハブ校舎が非常に思い出に残っているんですよ。ささやかなところでトイレの洗面器にクレゾールというのが置いてあって、あれで消毒して…ということがありました。手が臭くて、めんどくささとかね、あの頃歯磨きも始まってたんじゃないかな。習慣として衛生公衆というのも盛んになってきたのかな。記念館というのが池のあの辺りのプールの所にあってね、そこの観音開きの扉を開けるとテレビがありました。そこで皆で正座ってこともないけど、畳の上に座ってテレビを見ましたね。個人的なことを言えば、担任の先生が車の通勤で当時スバルの350に乗っていてね、皆で面白がっていたり。

松田光平さん 昭和45(1970)年卒業

私が入学したのは、ちょうどオリンピックの年(1964(昭和39)年)になります。その前の年に聖火ランナーの通る道で前の道が舗装されたのを覚えています。入学間もない頃に新潟地震がありまして、それが松代群発地震を誘発したという風に言われているんですが、とにかく机の下に潜れと言われて。体がでかかったものですから、潜ったら机がゴツチャになってしまっただけ。ご飯食べ

ている最中だったんですけども、脱脂粉乳がかかって臭くて、その後授業にならなかったのを覚えています。

あと、ちょうど長野市と合併した時に新校舎が出来ました。昔は北校舎ではなく新校舎と呼んでいました。新校舎の屋上に登って、望遠鏡で志賀の山々を見て、「あれが笠岳だよ。あれが横手山だよ」と先生が教えてくれた記憶があります。

**青木勝雄さん 昭和48(1973)年卒業**

私の思い出としては、入学がプレハブでした。そこからすぐ新校舎へ自分の荷物と自分の机を自分で持って移動しました。そしてよく覚えているのが地震です。あの頃は木造の小さな机でしたけれど、その下に座布団だかなんだかを持って何秒で潜れるかっていうのをしょっちゅうやっていました。プレハブから新校舎へ入って、それからまた2～3年生で木造校舎へ行って、4年生から新校舎へ戻りましたね。新校舎はスチームヒーターみたいのがあって、温まるまでガチャガチャと音がするみたいのすごく覚えています。あと給食はアルマイトで、コッペパンがよく出ていて、コッペパンがまずかったんです。休んだ人には藁半紙に包んで連絡帳と一緒に届けたんです。プレハブの時は脱脂粉乳だったけど、新校舎へ行ったら牛乳瓶でした。

宮入俊明さん 昭和48(1973)年卒業

思い出といえば青木君が優秀で、私は劣等生で常に廊下に立たされていました。誰もが知っている2組の宮入は私です。一番ひどい時は宿題を忘れてきた時に、冬の真ただ中、大雪降ってる時に廊下の真ん中に1時間目から4時間目までずっと立たされていた。寒かったです。

昔からあった木造の第一体育館の隣にあった音楽室も良かった。第一体育館の隣にオバケトイレがあった。入口が一つで境がなくて、女子は扉があったけれども冬は暗くなって怖かったですね。

それから5年生か6年生の時にプールが新しくなったんです。その時の記念会で、当時の市長である夏目市長が来て泳ぎを見せたのが記憶にあります。

毛受直子さん 昭和54(1979)年卒業

私が1年生の時にちょうど100周年でした。航空写真とか撮った覚えがあります。式典の事については全く記憶にないんですけど、歌を散々歌った記憶があります。校歌ではなく、100周年の歌が作られて歌いました。私の母が80歳を過ぎてるんですけど、その後半を歌えるので多分私が家で歌っていたんだと思います。100周年の式典の曲はないんですけども、ちょうど2年生になる時に西小と分かれまして、当時1400人児童がいたのが西小に何人か行き、移った時に皆で机を運んで弧線橋を超えて歩いて行きました。私は椅子を運びました。今だったら絶対に業者の方だと思うんですけど、その頃は子どもが二人一組になって机を運びました。セブンイレブンの前の陸橋を皆でゾロゾロと渡って行きました。

鳥羽清美さん 昭和54(1979)年卒業

給食は最初の頃はコッペパンで、途中から米飯が1週間に1回か2回出たなって記憶があります。まだ入学したての1年生の頃に、「食べ物は大変なので絶対に残してはいけない」と担任の先生からの教えがありました。食缶の中を全て盛りきって、全部食べなさいという先生でした。私、いつも最後まで食べられなくて掃除の時間まで最後の最後まで食べてる子だったので、途中思いついたんです。なーんだ、食べ物を隠せばいいんだ！それでパンとか隠せるものを机の中へ入れまして、そして食べきったような振りをしてるのが何日か続いて恐ろしいことになるんです。で、母が授業参観の後かなあ、娘の机を見た時にエライことになってる！って、とても怒られたという記憶があります。みかんが腐って青くなったりとか。その年齢で精一杯の知恵だったんですけど。

桑原武彦さん 昭和54(1979)年卒業

私も100周年の時に航空写真がありました。文字が崩れ



ないようにしばらく動かないように言われてました。給食では僕はコロケが一番好きだった。鯨肉の竜田揚げが非常に好きだった。お汁とかの食缶はだいたいどこかのクラスがこぼしてしまい、そうすると放送で何年何組の給食が足りなくなってしまったので余ってるクラスは…と流れたので分けたりもした。牛乳を全部ひっくり返して落としてしまっただけで瓶が割れちゃったということもありましたね。あと、中庭に鶏小屋とウサギ小屋があったんですね。当番があってキャベツを西友にもらいに行っておいてた記憶があります。ラジオ体操とプールは夏休みにしこたまあった気がします。僕らが6年生の時に吹奏楽のトランペット等の楽器が入った。同級生が吹いているのを聴いてスゲーなあと思った。

村田浩一さん 昭和54(1979)年卒業

皆さんと同じ思い出しかないんですが、当初は安定期で、これといって動きもなく群発地震の話もありましたけれども、それも過ぎ、ちょうど全体的にも出来あがって、その当時の形のままで6年間が過ぎたかなと。テレビも全教室にあった気がしまして。プラネタリウムもなんとなくあったような気がします。「あの部屋には入っちゃいけない」と言われていて、あまり活用はなかったですね。

100周年話で、記念として文鎮が全員に配られました。あとは100周年の本もあったんですよ。もう一つ、北海道の通明小学校からジャガイモが送られてきて、それをお昼に食べて、多分給食室か調理室でふかしてました。

第3回 2022年8月27日 ～平成の通明小～



丸山岳さん 平成13(2001)年卒業

私が小学校5年生の秋にプールの工事が始まりました。6年生の時に現在のプールが完成しています。私が4年生の時に先生の企画で、どうせ壊すプールだったら皆でプールの床に絵をかこうということになりまして、全校生徒で小プールの方に絵を描いたのが、今でも思い出となっています。6年生の時は全校生徒が油性マジックで絵を描いたプールで泳ぎました。

当時、通明子ども祭りという、児童会主催のお祭りがありまして、4、5、6年生がお店を出しまして、1、2、3年生がお店に参加するという行事がありました。お化け屋敷などをクラスでやりました。学園祭のようなものです。オリンピックの年(1998年)は通明子ども祭り自体はなくて、通明オリンピックというものがありまして、委員会主催で紙飛行機を飛ばす、などの、オリンピックにちなんだ出し物がいくつかありました。

現在の通明小は韓国と交流があるのですが、当時はスイスと韓国の2校との交流がありました。どちらかといえば、スイスとの交流のイメージが強かったです。オリンピックの期間中にスイスの選手団を、通明小に呼んで交流しました。希望者が集まって、スイスの選手団と日本の遊び、けん玉や竹とんぼとかを、一緒にやったという記憶があります。当時オリンピック休みという休みがありまして、例年は寒中休みという名称だったんですけどオリンピックの年はオリンピック休みという名目で休みでした。

給食は確かごはん、ソフト麺、とかパンがあったり。どこかのクラスが汁物をこぼすと、全校放送で「何年何組

がこぼしてしまいました。集めてください」と放送されていました。

今だと考えられないのですが、体育の先生が給食を残すことが嫌いな先生で全部盛り付けて、給食を残すことが出来ない環境を作って、そのクラスは三年間残飯ゼロでした。また、仲良し給食というのがありましたね。姉妹学級で給食を食べたりお手紙を出し合ったりという行事でした。

杉本陽太さん 平成16(2004)年卒業

平成3(1991)年生まれで130周年の時に卒業、ちょうど児童会の副会長をやっていたもので、当時のタイムカプセルを埋めた記憶がかなり残っていて、久保田実行委員長さんにこちらから連絡を取らせて頂きました。

当時児童会で朝早くにきてアルミ缶を回収する作業をずっとやってたんです。アルミ缶を回収してそれをお金にしてタイムカプセルを作って20年後に開けましょうという形でやっていました。

また、130周年の時に通君と明ちゃんというイメージキャラクターを作ったんです。韓国の方々が来た時に思い出として作ったキャラクターで、紙に描いたものをタイムカプセルに入れたんですね！通君、明ちゃんがタイムカプセルからでてくるか、楽しみです。

【タイムカプセルについて宮入俊明さん(平成14(2002)年度PTA会長)の補足説明】

タイムカプセルの写真はないです。重機を使ったので、危険が無いように、埋める時はわずかな先生とPTAの方と何人かで埋めました。その場所にプレートがわかるように貼ってあります。タイムカプセルの中には先生はウイスキーを、6年生は自分たちが20年後に飲めるからとワインを入れていました。

山岸晃さん 平成16(2004)年卒業

僕は合唱部において野口先生に教わっていたんですけども、韓国の交流の中で歌が「アリラン」(韓国では国民的な曲)という歌をものすごく練習して覚えて、交換留学の時に何人か歌を披露しました。

タイムカプセルの時に空き缶で資金集めしていました。その後、タイムカプセルに入れるものを持ってきて入れました。(タイムカプセルは)白っぽい四角い箱という記憶があります。子供たちは入れてからの流れは見えていな

いんです。僕らは一生懸命空き缶を集めたし。

タイムカプセルに物を入れたからってつきり6年生のものだけだと思っていたんですよ。よくよく聞いてみたら、1年生から6年生までの記念だったらいいです。その時担任の先生からは私達が32歳のころに開けると言いますと言われた記憶があったんですよ。だから、去年あたりから何人かの同級生に会うたびに「呼びかけてあげないと誰も開けないで忘れ去られてしまうのではないか」という話をしていました。そしたら、思った以上に大きなプロジェクトでした。

思い出を語る会と聞いて考えた時に校長先生との思い出があって、当時僕が4年生かよく覚えてないのですが、新しく入ってきた校長先生で気さくな明るい先生で、最初の挨拶で春の話をされて、「ふきみそを作ってきました。良かったら校長室に食べに来てください」と言っていたのでその直後に行ったんです。ふきみそを食べて、「うまい？」って聞かれて、苦くて全く美味くありませんでしたが、小癪な子だったので、「美味しいです！」って答えてそこから昼休みとかちょこちょこ校長先生の所に顔出して、電池で無限に回る駒とかですね、そういうものを見せてもらったりして。けっこう校長先生の所に遊びにいっていたのが思い出です。

(給食について)担任の先生がお母さん系の先生で塩とゴマを常備していて、余ったご飯を塩むすびにして食べたい子ども達に配っていました。牛乳はバックからビンに変わり、その結果牛乳早飲みが流行った。早飲みチャンピオンみたいのがクラスに一人はいましたね。

杉本将太さん 平成19(2007)年卒業

兄・陽太、弟・将太です。僕は兄の3つ下で、130周年の



時は小学校3年生でした。

小学6年の時に『桐の木の下で』という歌があってそれも野口先生が作られました。音楽と人権を通して「桐の木物語」という、野口先生が確か妖精みたいな感じで演じてくれたりして、怖い先生がやっていた悪役が桐の木のパワーを奪ってしまい、「このままだと桐の木が枯れちゃうからみんなの歌が必要だ」みたいな劇が5、6回分あって、その中の一部を歌で盛り上げようということで、劇団リトルリーグという歌の得意な子達が劇に出たりして、その人達や野口先生が歌詞を作り、曲を富沢裕さんという、コスモスという合唱曲を作った有名な方に作ってもらいました。その歌を、パワーのない桐の木に歌って復活し平和になる、そんな物語を当時の先生方が作ってくださりました。

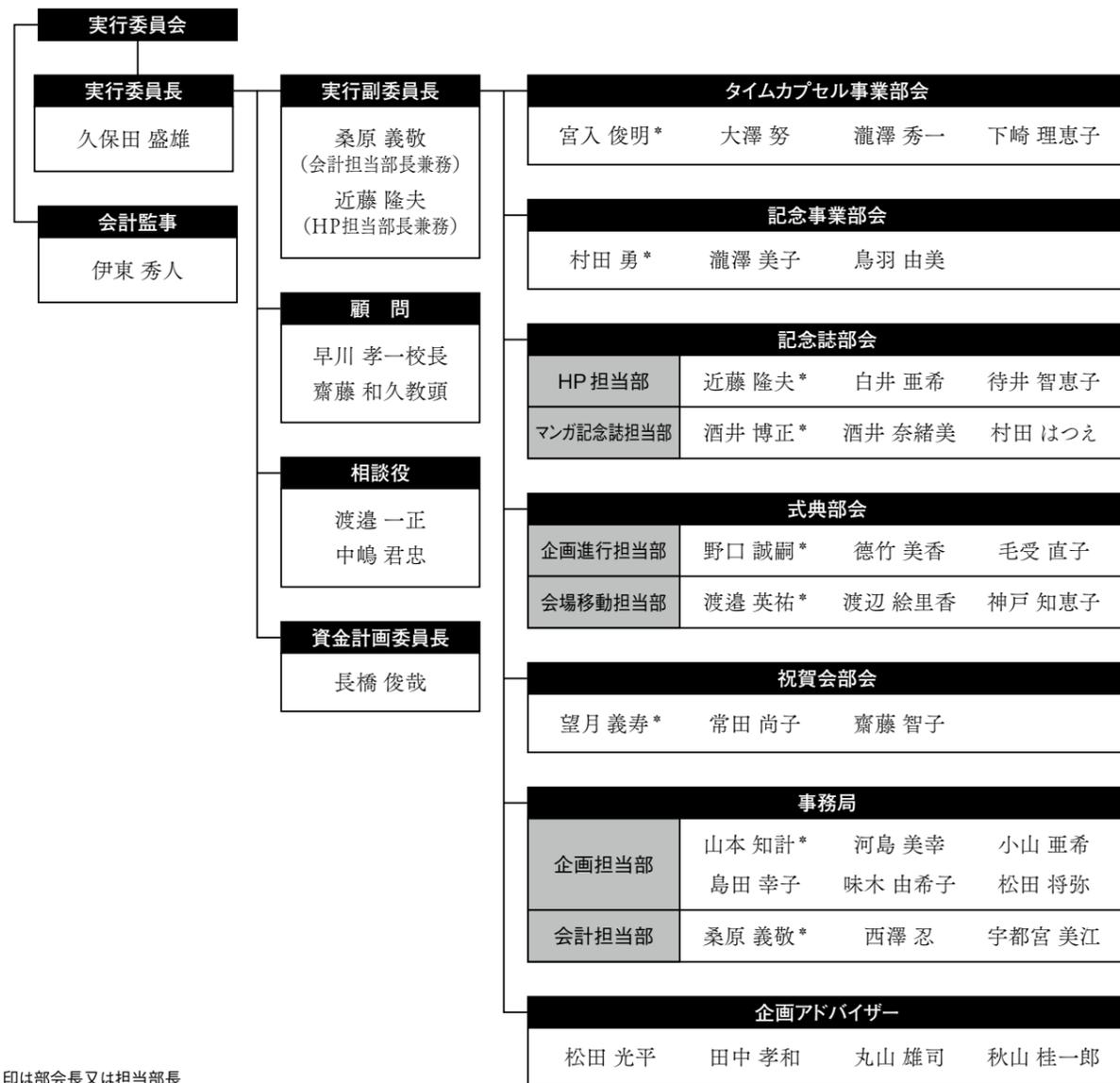
6年生の時に、最後の卒業制作で、木に『桐の木の下で』での歌詞を掘ったレリーフが学校のどこかにあると聞いたので楽しみにして来ました。

【『桐の木の下で』レリーフについて宮入俊明さんの補足説明】南校舎の階段の踊り場のところに四角い木小さい木に一文字一文字子供たちに文字を掘らせて、それを並べて歌詞になるように大きい木にはめ込んでいましたね。

山田岳穂さん 平成16(2004)年卒業

思い出とすると行事が多かった印象がありまして確かオリンピックに関連して、エムウエーブでスケート教室があったり、スキー教室があったりしました。低学年がスケートで高学年がスキーでした。

通明小学校150周年記念事業実行委員会 組織図



*印は部会長又は担当部長



発足時 2020年8月撮影

あとかき

「～桐の花の咲く頃～ 200周年の通明に想いを寄せて」

アニメーション監督・デザイナー 宮尾佳和 (昭和57年卒業)

学校記念誌ではマンガ制作の機会を頂き担当させて頂きました。制作で最も重要だと思ったのが「当時の生徒達の生の声」なので多くのOBOGの方々と直接「ヒヤリング」をさせて頂く機会も作って頂きました。今回の漫画の中で活かされたエピソードの中でも、特に戦中を生き抜いた卒業生の貴重な体験や証言は、平和な時代に生きている自分たちには考えさせられる事が多々あり、改めて「戦争」と向き合う良いきっかけになりました。それにより漫画自体に説得力と奥行きを与えて頂いたと感じています。今回の漫画制作では、昭和49年2月に刊行された「通明小学校百年史」が非常に大きな役割を果たしてくれました。単なる資料としての小学校の学校史でなく、複眼的に学校史を捉えている本誌の行間からは、どの時代であっても人が「どう生きるのか」という普遍的なテーマへの問いかけなのではと感じる瞬間があり、「これは後世に伝えて欲しいメッセージです」と先人が伝えてきて来ているのではと感じながら作業をしていました。このような資料を残していただいた見識高き先人や関係者への感謝の思いも助けとなり、多くの方々に感じてもらえるような作品に近づけたと思います。そんな経緯で作られた作品です。是非後世の子たち、さらに50年後「200周年」の未来の通明小学校のみなさんにも受け取ってほしい、漫画で想いを追体験してもらえれば幸いです。気持ちのバトンを繋ぎ、「郷土を育んだ通明小学校への感謝」を伝えていく事、それが150周年を迎えるOBOG全ての願いだと思います。この本が家族の会話や地域に興味を持つきっかけになれば幸いです。

「150周年記念誌制作を終えて」

通明小学校150周年記念誌部会長
酒井博正 (昭和58年卒業)

本誌は児童の皆さんに分かりやすく通明小学校の歴史を学んでいただきたいという想いを込め3年という制作期間を経て発刊に至りました。制作にあたり、学校という学びの場を通じた人と人とのつながり、歴史を再認識する機会となりました。本誌発刊のためにご寄稿等を賜りました方々に対し、衷心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

令和5年9月吉日

